

男女共同参画・多文化共生に関するアンケート

〈報告書〉

目的：安曇野市多様性を尊重し合う共生社会づくり計画策定にあたり、日本国籍市民の男女共同参画・多文化共生に関する意識等を明らかにするため。

調査対象：市内在住の満18歳以上（令和3年10月1日時点）の日本国籍市民2,000人（無作為抽出）

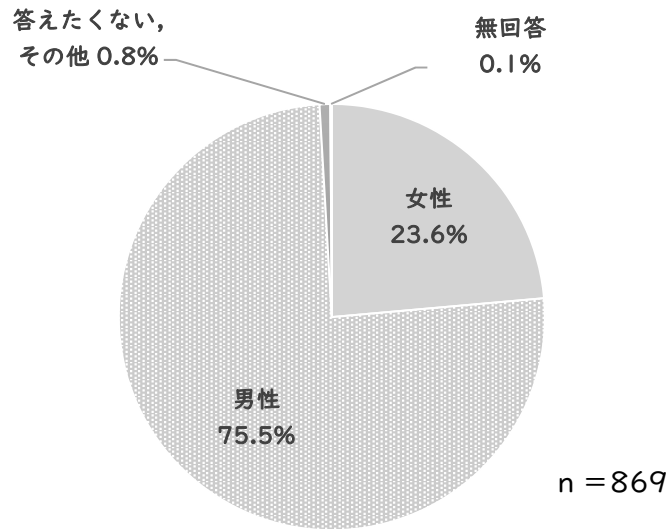
調査方法：郵送法調査 マークシート方式

調査期間：令和3年（2021年）11月5日～令和3年（2021年）12月17日

回収率：43.5%（有効回答数869）

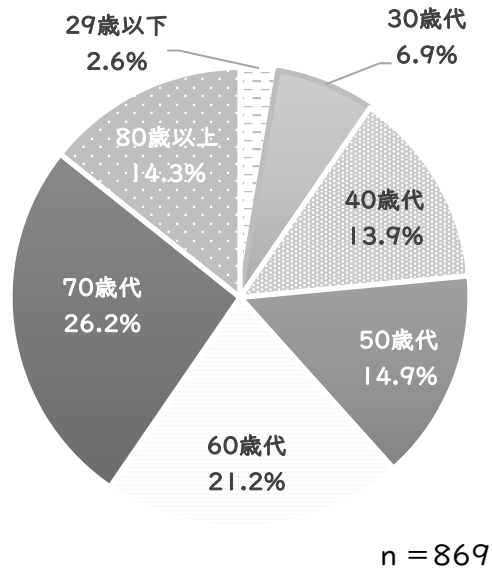
記述回答は、原則として記入どおりに掲載したが、明らかな誤字や脱字は訂正した。

問1 あなたの性別を教えてください。1つ選んでください。



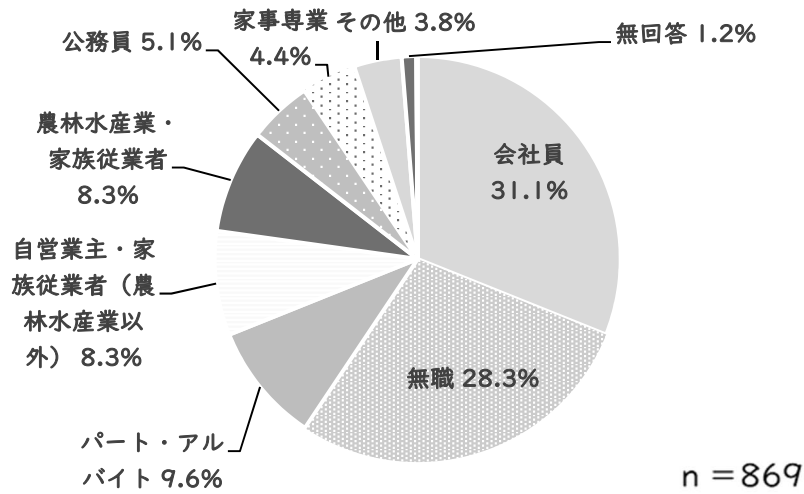
回答者の性別は、「男性」という回答が75.5%、「女性」という回答が23.6%となっている。

問2 あなたの年齢を教えてください。1つ選んでください。



回答者の年齢は、「70歳代」という回答が26.2%と多く、「60歳代」21.2%、「50歳代」14.9%となっている。50歳以上が76.6%になる。

問3 あなた本人のご職業を教えてください。1つ選んでください。

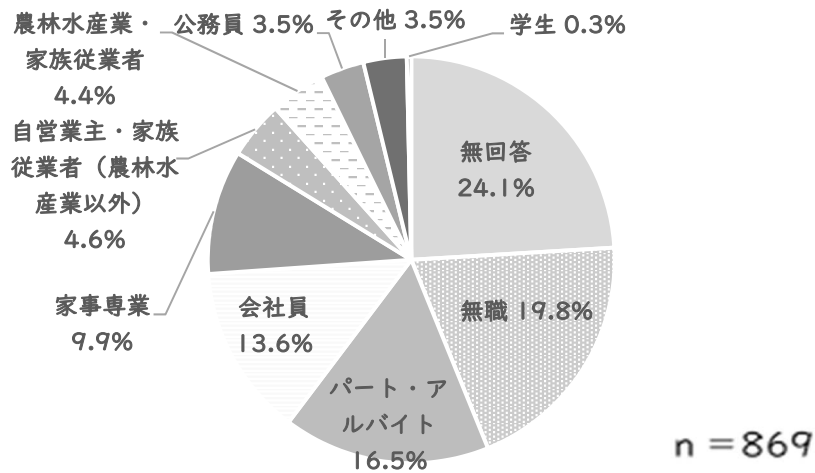


本人の職業については、「会社員」が 31.1%で最も多く、次いで「無職」28.3%と全体の約6割を占める。

●「その他」

- ・社会福祉法人正規職員、団体職員 8人
- ・退職者、年金生活者、無職-年金生活者、年金、1日数時間のバイト 5人
- ・介護員、介護職、障がい者施設、福祉関係 4人
- ・医師、心理療法カウンセラー、病院職員、看護師 4人
- ・農業、畑での野菜の集荷 4人
- ・会社役 2人
- ・主婦、家事・専業 2人
- ・金属加工の内職 1人
- ・士業 1人
- ・運動指導者 1人
- ・シルバー人材 1人
- ・少し大きめな家庭菜園 1人
- ・製造業 1人
- ・調理師 1人
- ・美術史研究 1人
- ・保育協力員 1人
- ・後期高齢者 1人

問4 配偶者がいる方にお尋ねします。配偶者のご職業を教えてください。1つ選んでください。



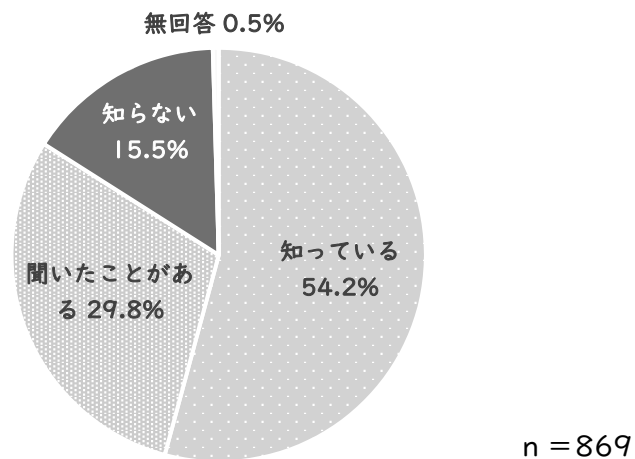
配偶者の職業については、「無回答」が 24.1%で最も多く、次いで「無職」19.8%と全体の4割を超える。

●「その他」

- ・死去、死去した、死別 14人
- ・配偶者なし、なし、いない 7人
- ・医療職、看護師、病院技師 3人
- ・アルバイト、イチゴ畑手伝い 2人
- ・社会福祉法人正規職員、介護員 2人
- ・無職-年金生活者、年金生活者 2人
- ・団体職員 2人
- ・塾講師 1人
- ・主婦 1人
- ・年金とバイト 1人
- ・契約社員 1人
- ・後期高齢者 1人
- ・農業 1人

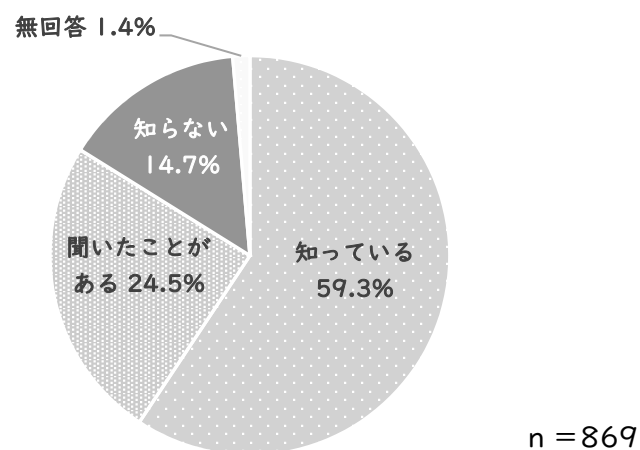
問5 あなたは、次の言葉やことがらをご存じですか。あるいは、聞いたことがありますか。1つ選んでください。

(1) 男女共同参画社会（男女が自らの意思によってあらゆる分野における活動に参画する機会が確保される社会について）



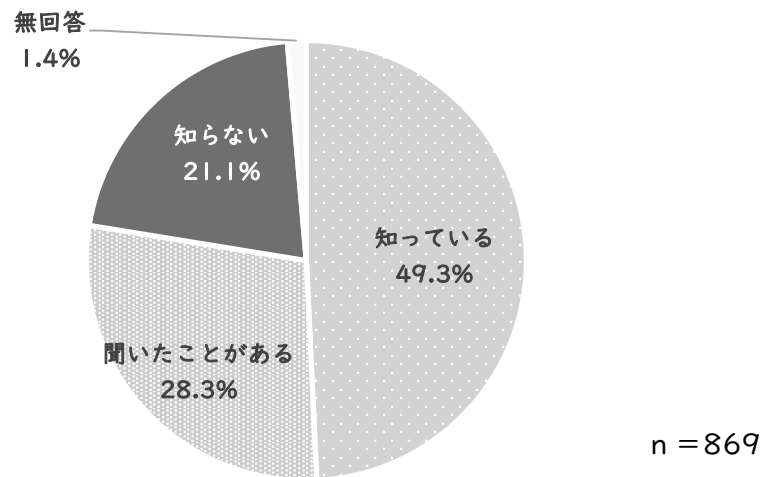
「知っている」54.2%、「聞いたことがある」29.8%となり、8割を超える。

(2) ジェンダー（社会的・文化的につくりあげられた性別）



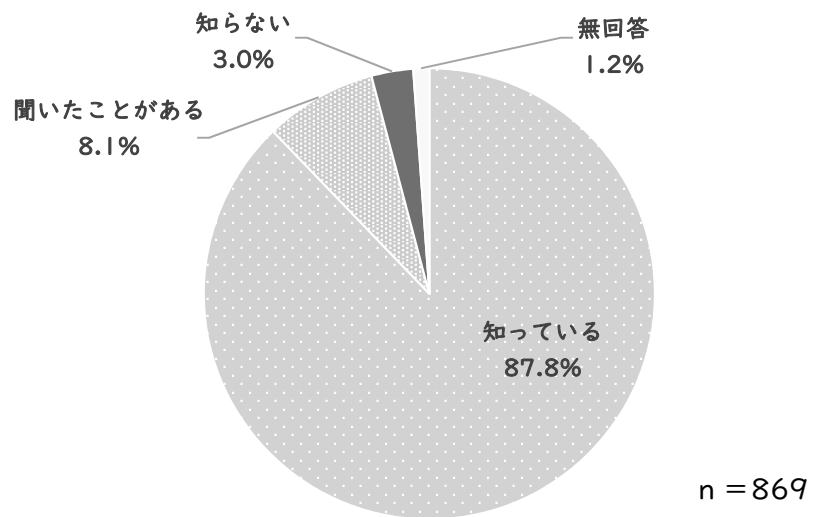
「知っている」59.3%、「聞いたことがある」24.5%となり、7割を超える。

(3) ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）



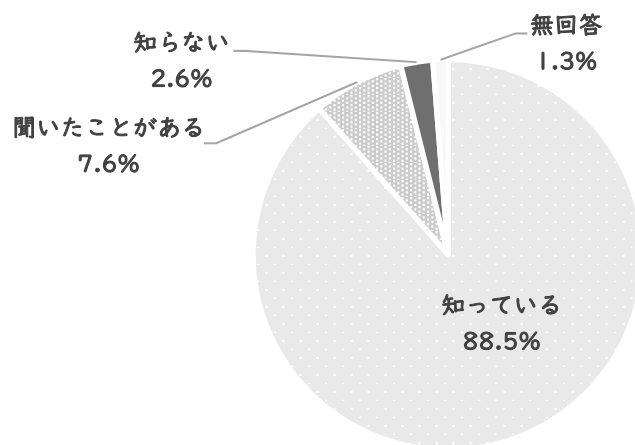
「知っている」49.3%、「聞いたことがある」28.3%となり、7割を超える。

(4) DV（配偶者や恋人からの暴力）



「知っている」87.8%、「聞いたことがある」8.1%となり、9割を超える。

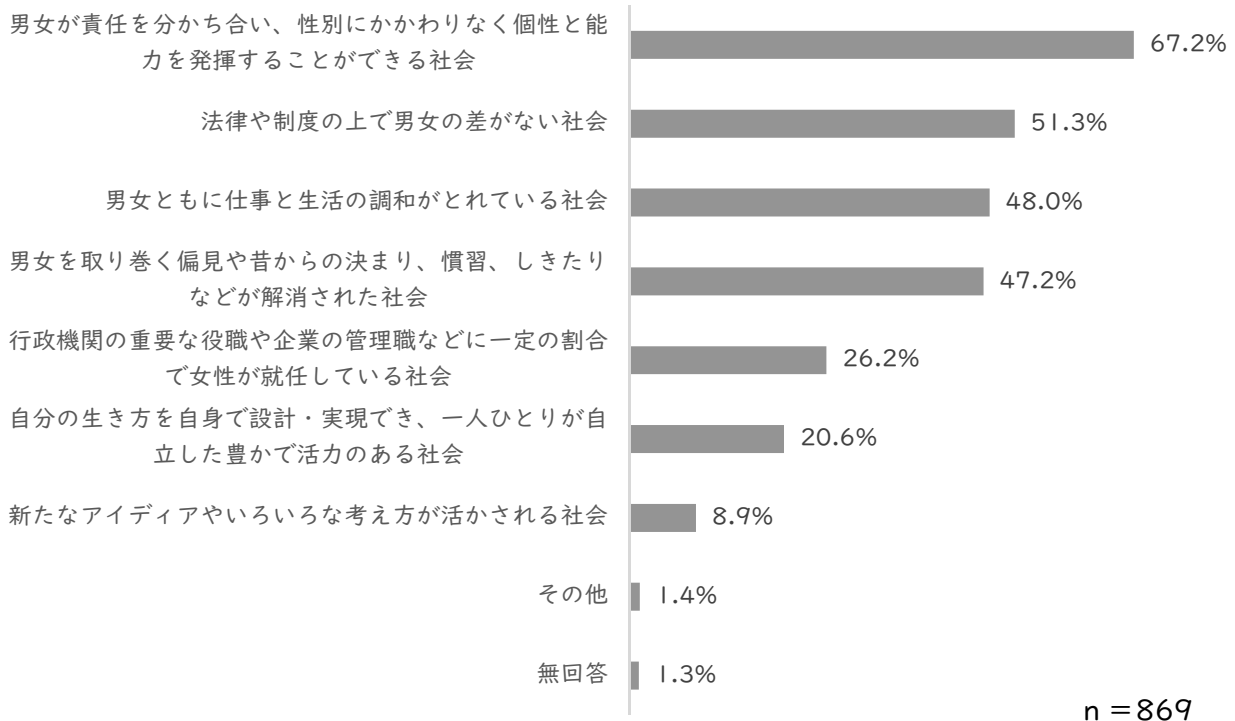
(5) セクシャルハラスメント (性的嫌がらせ)



n = 869

「知っている」88.5%、「聞いたことがある」7.6%となり、9割を超える。

問6 あなたが考える「男女共同参画社会」は、どのような社会ですか。次の中から、あなたのお考えに近いものを、3つまで選んでください。



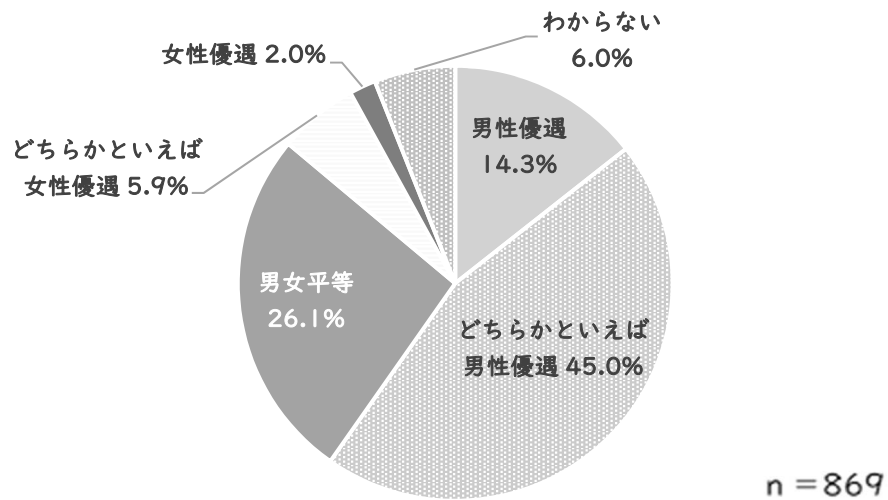
「男女が責任を分かち合い、性別にかかわらず個性と能力を発揮することができる社会」が、最も高く67.2%、次いで「法律や制度の上で男女の差がない社会」51.3%、「男女ともに仕事と生活の調和がとれている社会」48.0%、「男女を取り巻く偏見や昔からの決まり、慣習、しきたりなどが解消された社会」47.2%となっている。

●「その他」

- ・わからない 2人
- ・性差はある。本質的な違いと理解し、受け入れあった上で平等という言葉は改めて意味を持つ。同じように扱うことではない。1人
- ・男女の身体能力の違いを考えた上で。1人
- ・結果平等ではなく機会平等 1人
- ・男女という区分けがもはやダメな概念だと思う。1人
- ・女性というだけで差別もしないし、逆に優遇もしない。1人
- ・全部が達成できてこそ。1人
- ・ポリコレ 1人
- ・男女共同参画という言葉が不要な社会。1人
- ・地区役員を一定比率で男女分担する。1人

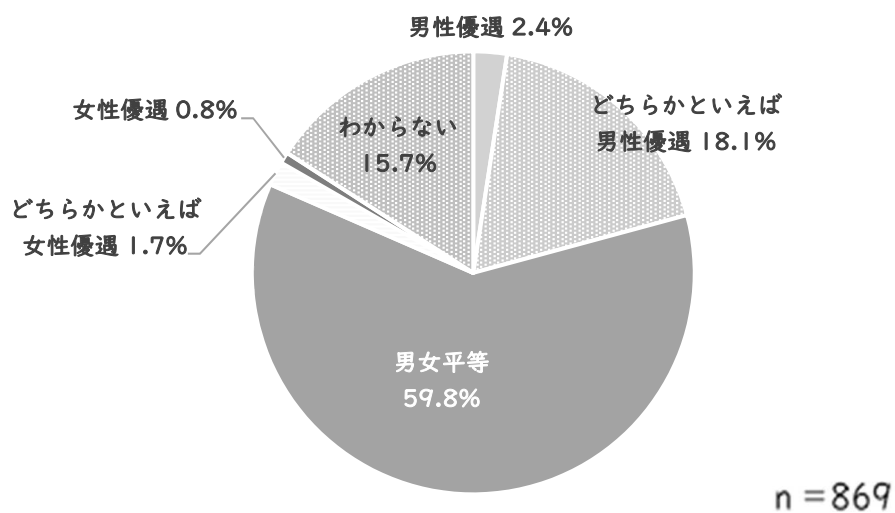
問7 あなたは、次にあげる分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。
それぞれにつき、1つ選んでください。

(1) 家庭生活



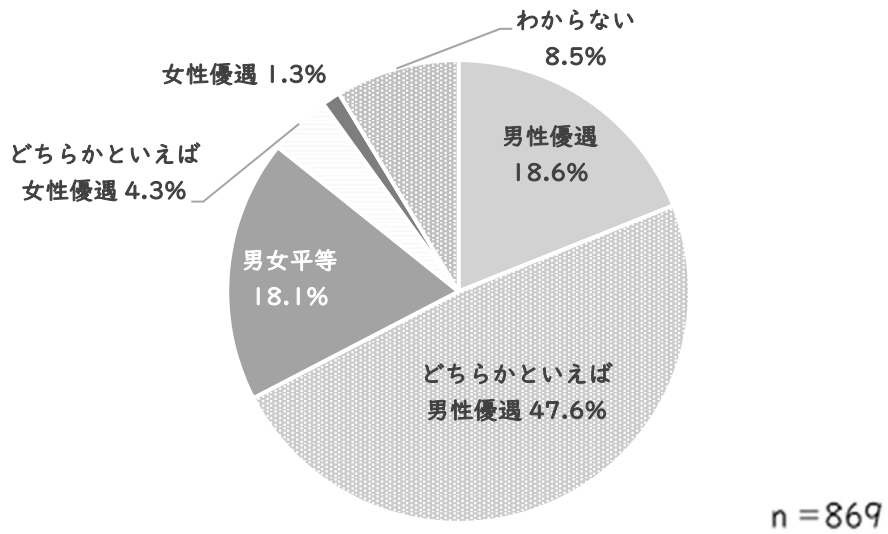
「男女平等」は26.1%となっている。「わからない」6.0%となっている。

(2) 学校教育の場



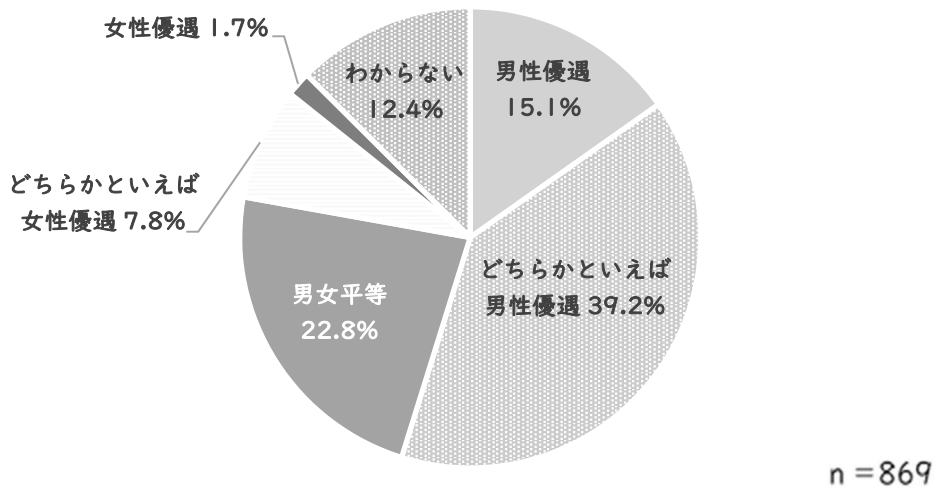
「男女平等」は59.8%となっている。わからない15.7%となっている。

(3) 職場



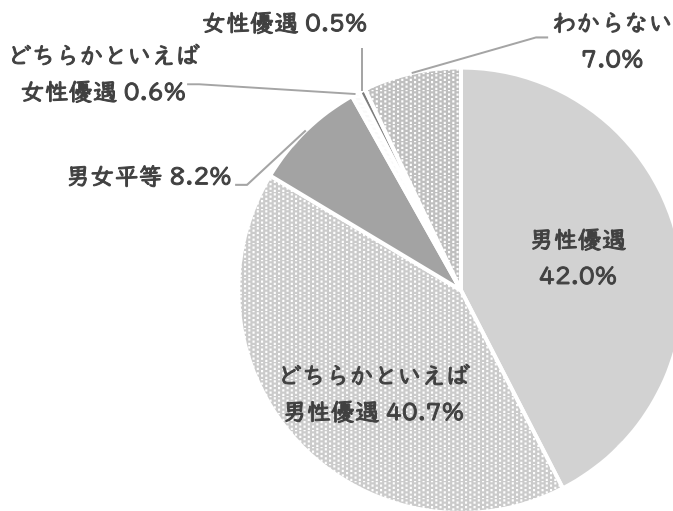
「男女平等」は 18.1%となっている。「わからない」8.5%となっている。

(4) 地域活動の場(自治会等)



「男女平等」は 22.8%となっている。「わからない」12.4%となっている。

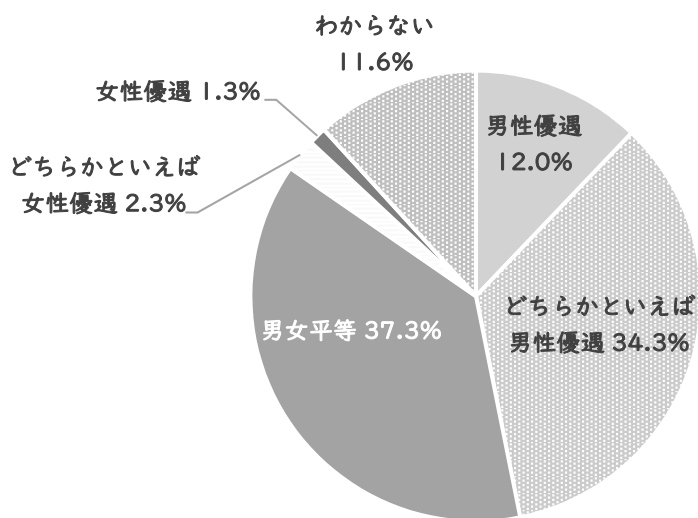
(5) 政治の場



n = 869

「男女平等」は 8.2%となっている。「わからない」7.0%となっている。

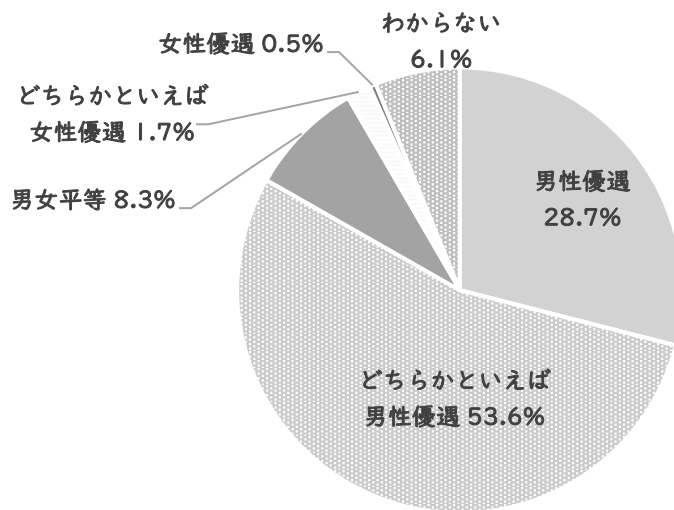
(6) 法律や制度上



n = 869

「男女平等」は 37.3%となっている。「わからない」11.6%となっている。

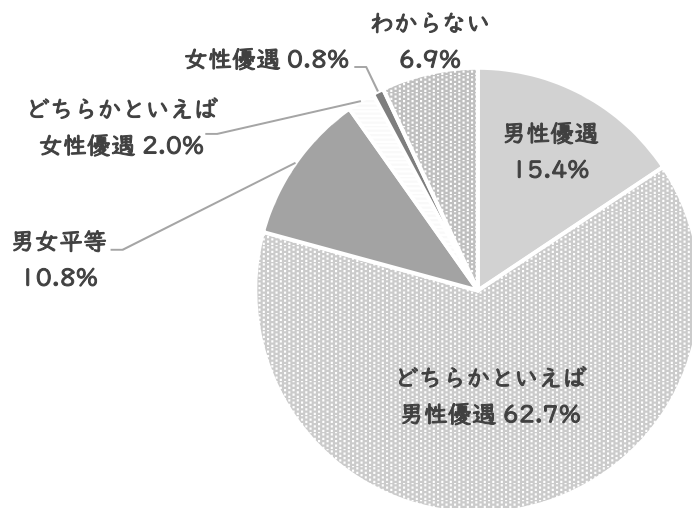
(7) 社会通念・慣習・しきたり



n = 869

「男女平等」は 8.3%となっている。「わからない」6.1%となっている。

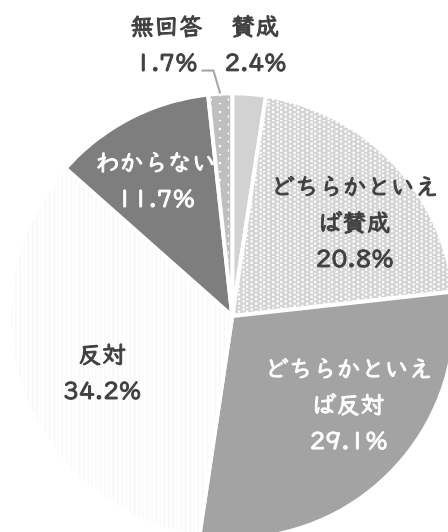
(8) 社会全体として



n = 869

「男女平等」は 10.8%となっている。「わからない」6.9%となっている。

問8 あなたは、「男は仕事、女は家庭」という、性別によって役割を固定する考え方について、どう思いますか。1つ選んでください。

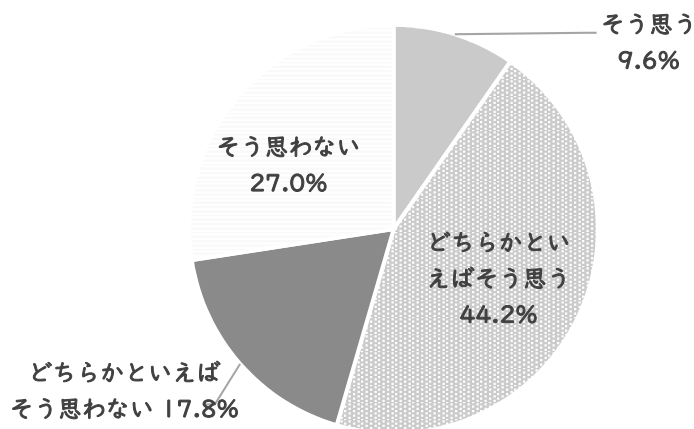


n = 869

「反対」34.2%、「どちらかといえば反対」29.1%を合わせると6割を超える。

問9 あなたは、次のような考え方について、どう思いますか。それぞれにつき、あなたのお考えを1つ選んでください。

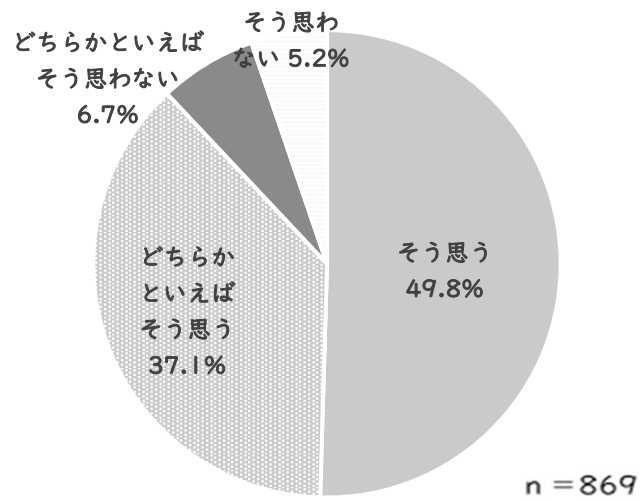
(1) 男性は外の仕事、女性は家事・子育て・介護に向いている



n = 869

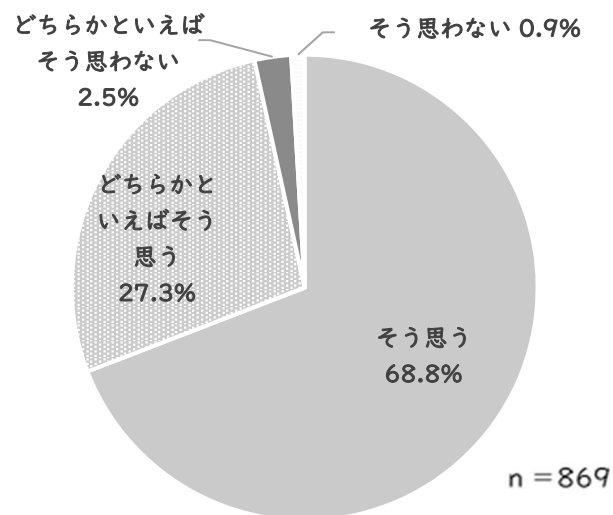
「どちらかといえばそう思う」44.2%、「そう思う」9.6%を合わせると5割を超える。

(2) 男女とも仕事を持った方がよい



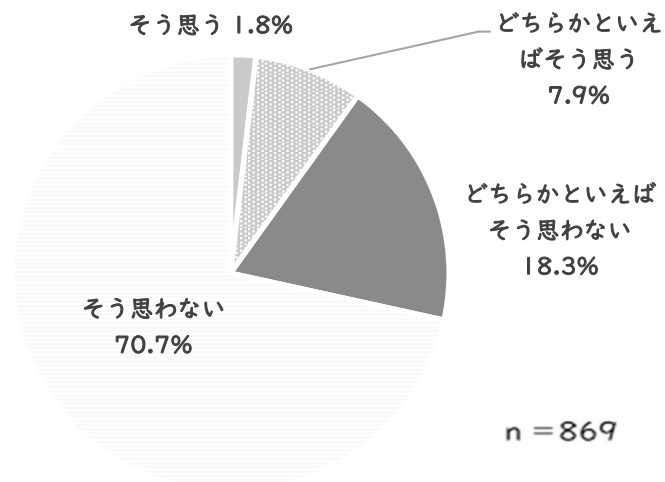
「そう思う」49.8%、「どちらかというとも思う」37.1%合わせると8割を超える。

(3) 家事・子育て・介護は男女が協力してやるべきだ



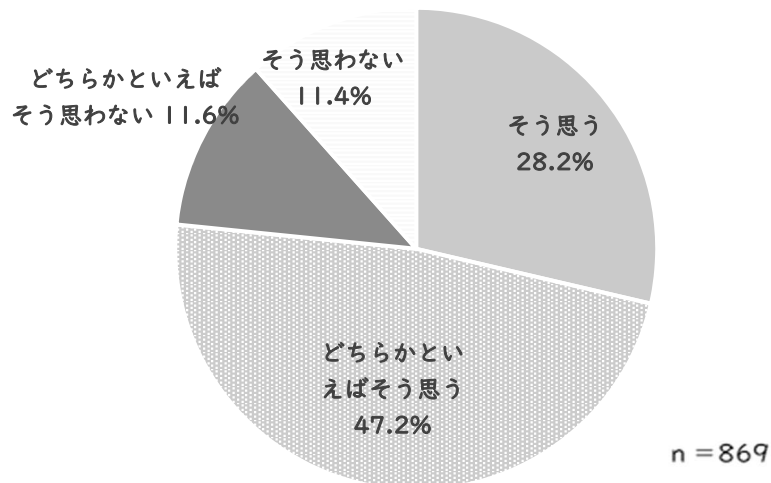
「そう思う」68.8%、「どちらかというとも思う」27.3%を合わせると9割を超える。

(4) 子どものしつけや教育は、母親の責任である



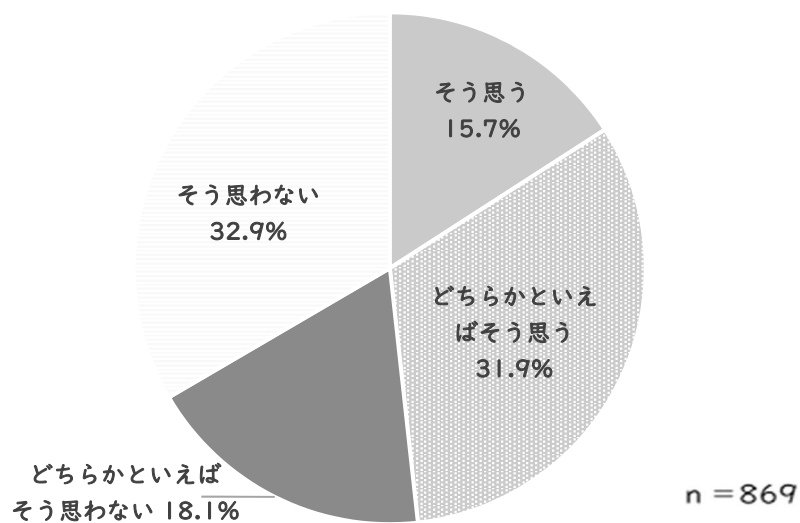
「そうは思わない」70.7%、「どちらかというと思わない」18.3%を合わせると約9割となる。

(5) 子どもが幼いうちは、女性は家庭にいた方がよい



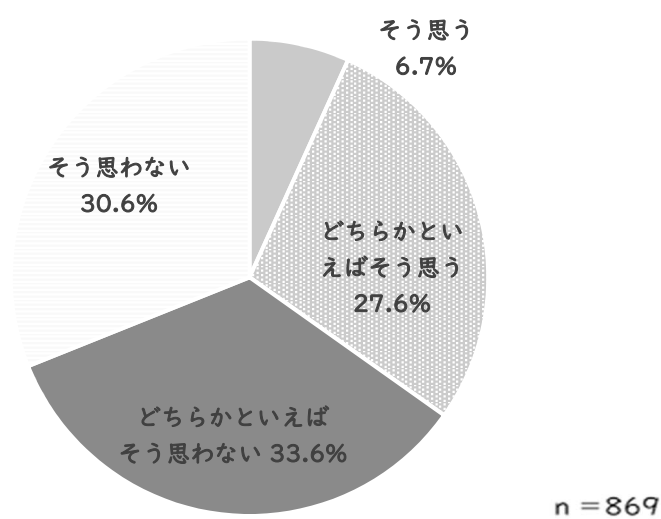
「どちらかというと思おう」47.2%、「そう思う」28.2%、を合わせると7割を超える。

(6) 子どもは、女の子は優しく、男の子はたくましく育てた方がよい



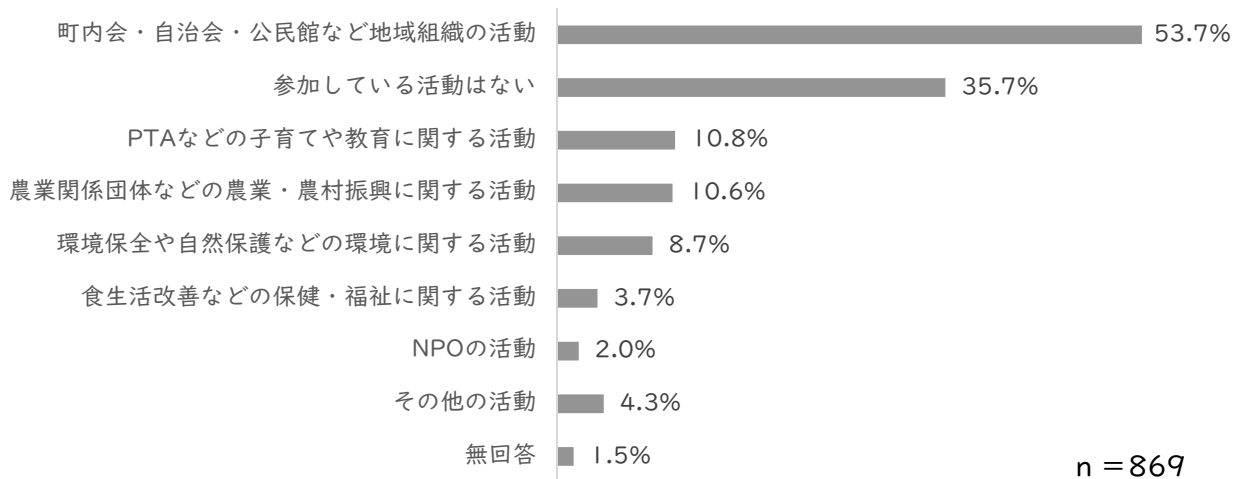
「そう思わない」32.9%、「どちらからといえばそうは思わない」18.1%を合わせると5割となる。

(7) しきたりや慣習は、自分は「嫌だ、時代に合わない」と思っても、守るべきだ



「どちらからといえばそう思わない」33.6%、そう思わない30.6%を合わせると6割を超える。

問 10 あなたが、現在参加している活動についてお尋ねします。次の中から、あなたが参加している活動を該当する番号を全て選んでください。

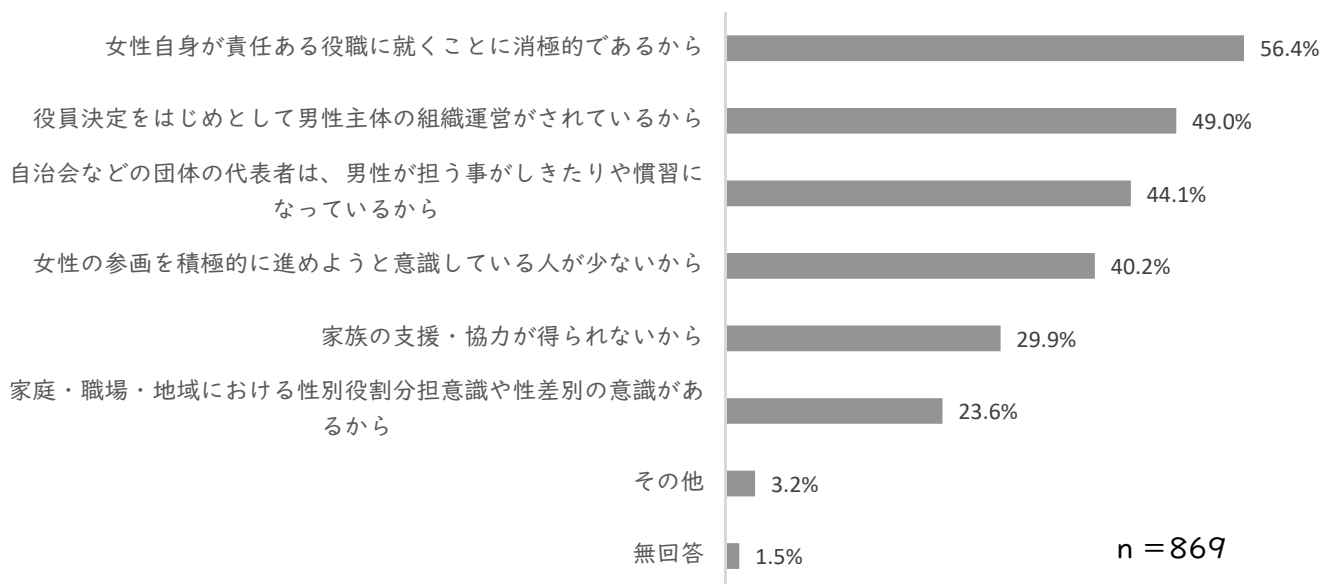


最も多い回答は「町内会・自治会・公民館など地域組織の活動」53.7%、次いで「参加している活動はない」35.7%となっている。

●「その他の活動」

- ・広域と地区のスポーツ活動、スポーツ活動、スポーツ協会活動、スポーツ大会への審判参加、スポーツ関連 5人
- ・郷土伝承活動、お祭り、貞享義民社奉賛講役員 3人
- ・音楽教育、指導活動、健康体操、趣味の活動 3人
- ・自衛消防隊、消防団 2人
- ・身体障害者福祉協会、精神障がい者施設でのボラ活動 2人
- ・安曇野少年警察ボランティア 1人
- ・会社の仕事 1人
- ・組合活動 1人
- ・青少年育成 1人

問11 女性の社会参画が進みつつありますが、町内会や自治会の長、PTA会長などには、まだ、女性が少ないのが現実です。このような方針決定の過程に、女性の参画が少ない理由は何だと思えますか。次の中から、あなたのお考えに近いものを3つまで選んでください。



女性の参画が少ない理由は「女性自身が責任ある役職に就くことに消極的であるから」が最も高く 56.4%、次いで「役員決定をはじめとして男性主体の組織運営がされているから」49.0%、「自治会などの団体の代表者は、男性が担う事がしきたりや慣習になっているから」44.1%、「女性の参画を積極的に進めようと意識している人が少ないから」40.2%となっている。

● 「その他」

家事、育児、仕事の両立 7人

- ・家事、仕事で時間がない
- ・家事仕事の両立で忙しい
- ・家庭を持った女性には負担が大きすぎる、またそれを支える時、男性側に理解がない
- ・家事・育児で会議準備や会議に参加することは難しい
- ・子どもが小さい
- ・家庭のことや仕事のことですべて忙しく家庭外のことに参加できる時間とパワーがないから
- ・家庭の仕事がありそちらまで時間がさけない

意識 4人

- ・男性の家事、育児、介護などの協力意識が低いから
- ・女性が役に就くことに反対する男がいるから
- ・組織の長や役員が年配者ばかりのため
- ・男が女の意見を下に見る

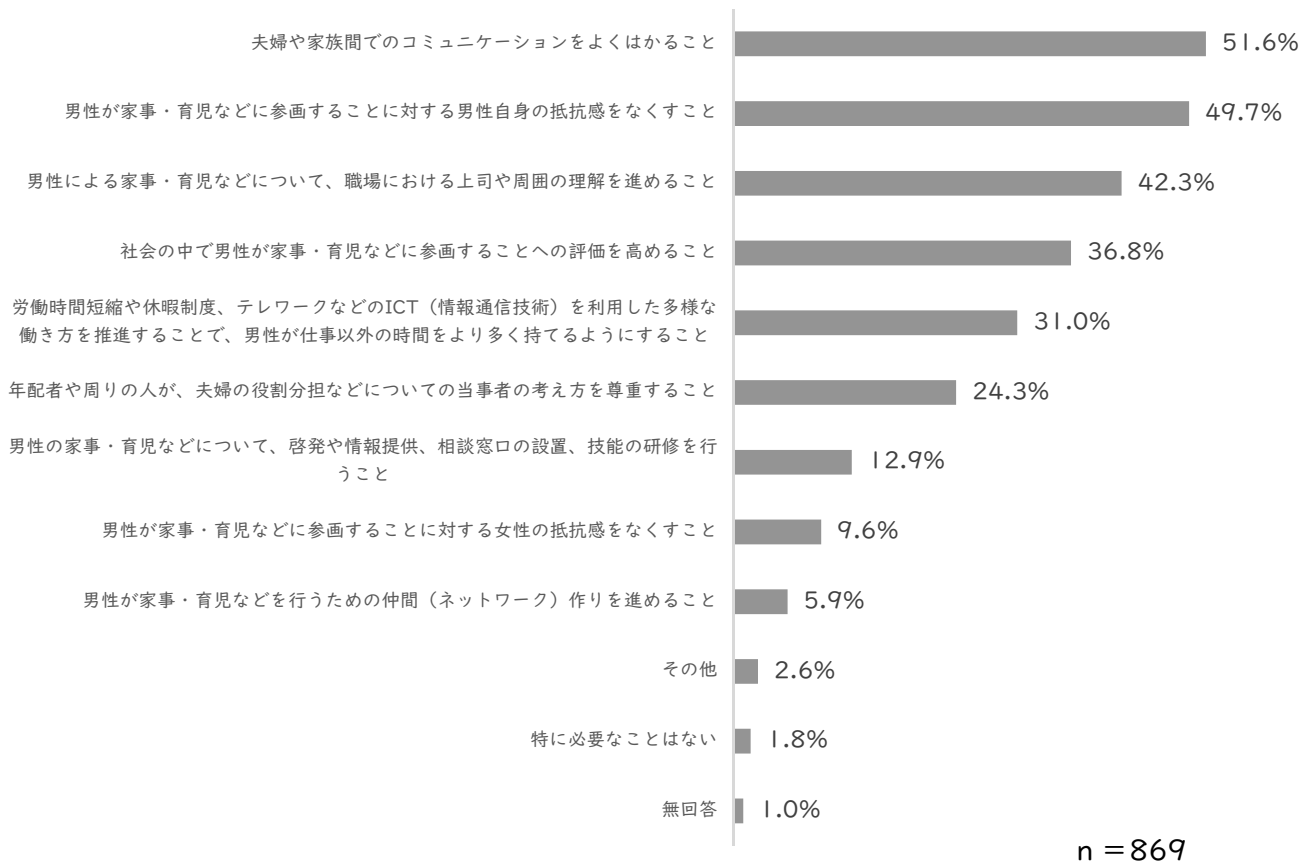
わからない 4人

- ・わからない (3人)
- ・今は歳だからわからない

その他 8人

- ・それぞれの能力や役割、適性がある
- ・優れた女性の所在が分からない当区は女性参加者が多い
- ・役の名は世帯主（男）で活動しているのは妻（女）の場合もありますよ
- ・会長など適材の人物ならば女性、男性関係ない
- ・性差
- ・女性が参画できる組織形態になっていない
- ・世代交代ができていないため
- ・当区は女性参加者が多い。

問 12 あなたは、現在、女性が分担する機会が多い家事、子育て、介護等に男性が積極的に参画していくためには、どのようなことが重要だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。



「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること」が最も高く 51.6%、次いで「男性が家事・育児などに参画することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」49.7%、「男性による家事・育児などについて、職場における上司や周囲の理解を進めること」42.3%と続いている。

●「その他」

偏見、しきたり、意識 8人

- ・(サムライの時代からの)昔からのしきたり
- ・家事や育児は女性のほうが向いているとかやるべきという偏見をなくす、夫(男性)の勤務時間を短くして、その分を家事、育児、介護にまわす
- ・こういう場合男性側の意識より女性側の意識を変えるほうがコストが低く早い
- ・男女に関係なく人として家庭を築く
- ・男性とか女性とか考えるのではなく、人格を持った1人の人間としてとらえ、一人の人間が選択したことを尊重することが重要と考える。
- ・男性本人のやる気
- ・家事・育児・介護等を女性が全て担う事がどれだけの負担になるのかを男性がもっと考えるべき
- ・本人の参画する意識を高める

経済力 8人

- ・経済力
- ・仕事を休むと収入が減るからそこを改善する
- ・生活の基盤となる給与格差
- ・女性が家計を支えるだけの十分な収入を得られること
- ・男性と同様の収入が必要
- ・介護職の給与が安すぎる
- ・女性の非正規率を下げる
- ・女性の稼ぎが増えること

職場 3人

- ・公立学校職員の業務の削減をする
- ・職場における法整備
- ・労働時間の短縮

子ども、教育 2人

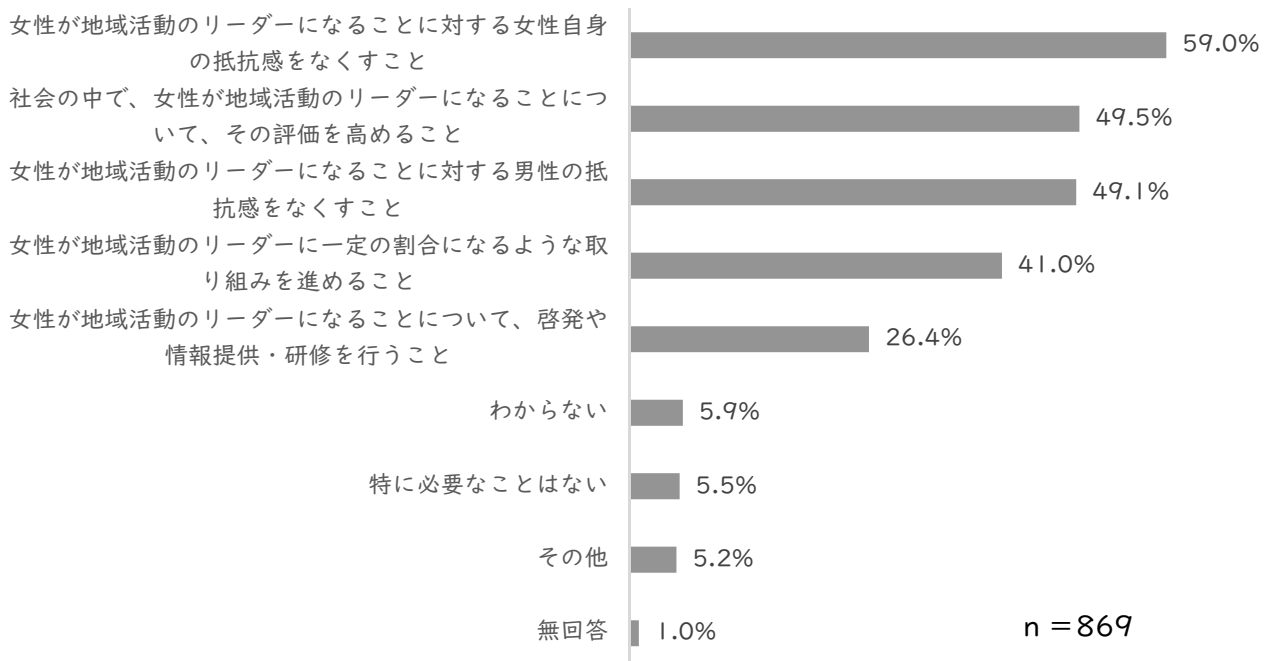
- ・子どもの頃から家庭内の仕事を教えるべき、身につけていないことを大人になって教えても無理だと思う
- ・小学校から教育を進める

わからない 2人

その他 6人

- ・性別による肉体的機能を加味して男女の特性を生かした参加をすればよい
- ・そもそも家事を減らすこと
- ・ただやる気を起こせばよいと思う
- ・男性(父親)も利用できる／しやすい授乳・おむつ交換等の環境を大いに整備していくこと
- ・リーダーが押し付けられるいやな仕事でなくなる
- ・自治体の担当者が職場に出向いて啓蒙してほしい

問 13 あなたは、自治会長やPTA会長など、女性が地域活動のリーダーになるためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から、あなたのお考えに近いものを3つまで選んでください。



「女性が地域活動のリーダーになることに対する女性自身の抵抗感をなくすこと」が最も高く59.0%、次いで「社会の中で、女性が地域活動のリーダーになることについて、その評価を高めること」49.5%、「女性が地域活動のリーダーになることに対する男性の抵抗感をなくすこと」49.1%と続いている。

●「その他」

育児や職場、家庭等の環境整備 11人

- ・子供を預けられる場所をつくるなど
- ・まず、リーダーとして活動するための基盤(家庭や仕事)の環境を整えるべき
- ・家庭内での役割分担を見直す
- ・家族や地域の協力
- ・家庭(男性)・社会の理解等の支援が必要
- ・家族の支援、協力
- ・社会において男女の業務量が平等になること
- ・女性の負担軽減のために家庭・地域の協力が必要
- ・リーダーになることで家事、育児はどうするのか、男の自立が必要
- ・女性の家庭内、仕事の負担軽減
- ・家族の相互協力

偏見、しきたり、意識 6人

- ・しきたりや慣習のあり方を考え直す
- ・人物が良ければ男女差はない
- ・男でなくてはだめという考え
- ・幼い頃からの教育で男女平等意識を持つようにしていくこと
- ・古い習慣の意識改革のキャンペーンを行政が行う
- ・幼少期からの教育や男の子は、女の子はという刷り込みをやめ、主張や責任感、リーダーシップのある女性を増やすこと。男児も同様

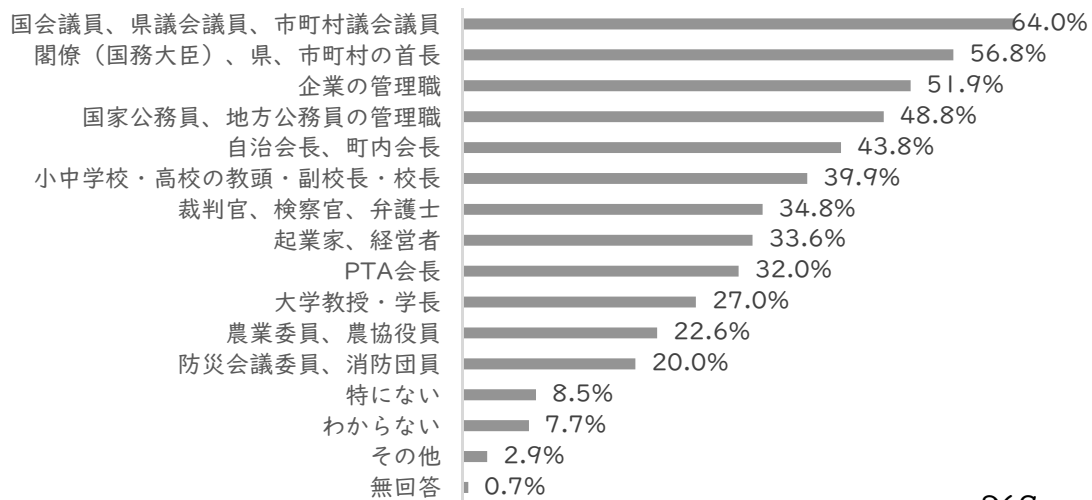
女性自身の変化 3人

- ・女性の積極性
- ・女性自身が社会、地域のことに関心をもって学ぶ必要がある
- ・女性自身が積極的にリーダーになろうとすること

その他 15人

- ・能力主義
- ・そもそも PTA や自治会が必要ない
- ・男女ではなく適任者でよい
- ・役員等は男性含めて、やりたいという人がいない、決めるときはほかの人に押し付けあっている
- ・会長、役員職は負担が多すぎるので、少なくとも男女関係なく参加できるようにしたらよい
- ・女が集まると面倒くさい
- ・ヨーロッパを参考にする
- ・女性は外での仕事以外に家庭でやるが多すぎ
- ・これ以上の負担は無理
- ・責任感を強く持ち地域のことを最優先に考える
- ・やりたい人がやればよい
- ・生活の基盤となる給与格差
- ・本人の意思
- ・男性とか女性とか考えるのではなく、人格を持った 1 人の人間としてとらえ、一人の人間が選択したことを尊重することが重要と考える
- ・会社を休みにくい。

問 14 あなたは、次にあげる職業や役職において、今後、女性がもっと増えた方がよいと思うものはどれですか。該当する番号の全てを選んでください。



女性がもっと増えた方がよいと思う職業や役職は「国会議員、県議会議員、市町村議会議員」の回答が最も多く 64.0%、次いで「閣僚（国務大臣）、県、市町村の首長」56.8%、「企業の管理職」51.9%と続いている。

●「その他」

全ての職 5人

- ・職種に関わらずどんな場所でも良い
- ・職に関わらず全ての職域で
- ・すべての職業、役職
- ・特に職業をしぼる必要はない
- ・全職業

適材適所 4人

- ・適した人が全てやればよい
- ・適任者でよい
- ・男女関係なく能力等、適した人材であれば良い
- ・そもそも適した人がやればよくて、比率はその結果でしかない

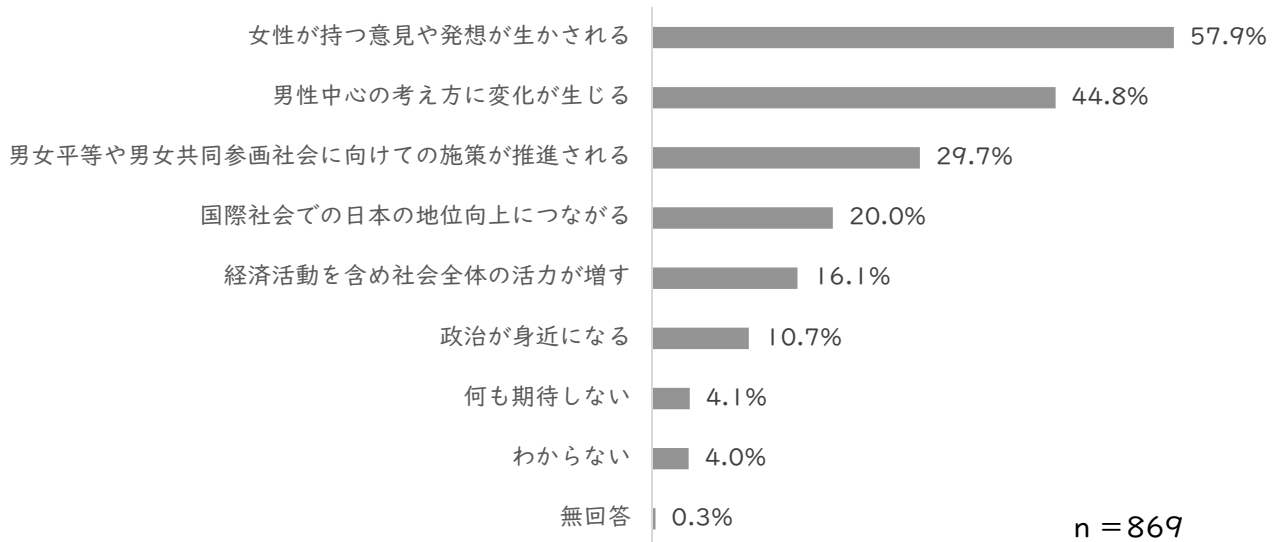
能力、実力 3人

- ・能力のある方なら性別は関係ないと思う
- ・男女の問題ではなく能力のある人がやるべき、特に行政・立法・司法は…と思います
- ・男女に関わらず能力のあるものが上に立つ

その他 8人

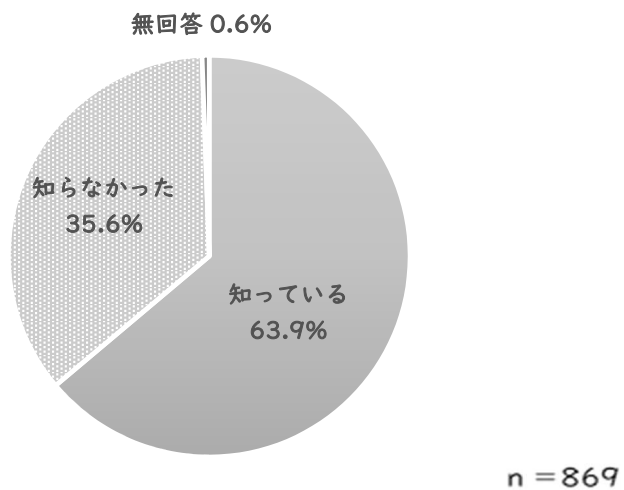
- ・女性の時代にしていく
- ・職人、技術系の仕事、体力のある女性であれば力仕事など
- ・単に人数を増やせばよいということではない
- ・実力よりも男性社会でうまく立ち回れる女性が受け入れられる
- ・出来る分野でやればよいと思う
- ・女性の数がどうのではなく、男女機会均等を進めるべき
- ・総理大臣
- ・ゆとり教育によりよくない

問 15 あなたは、政策方針決定の場に女性が増えることで、何を期待しますか。次の中から、あなたのお考えに近いものを2つまで選んでください。



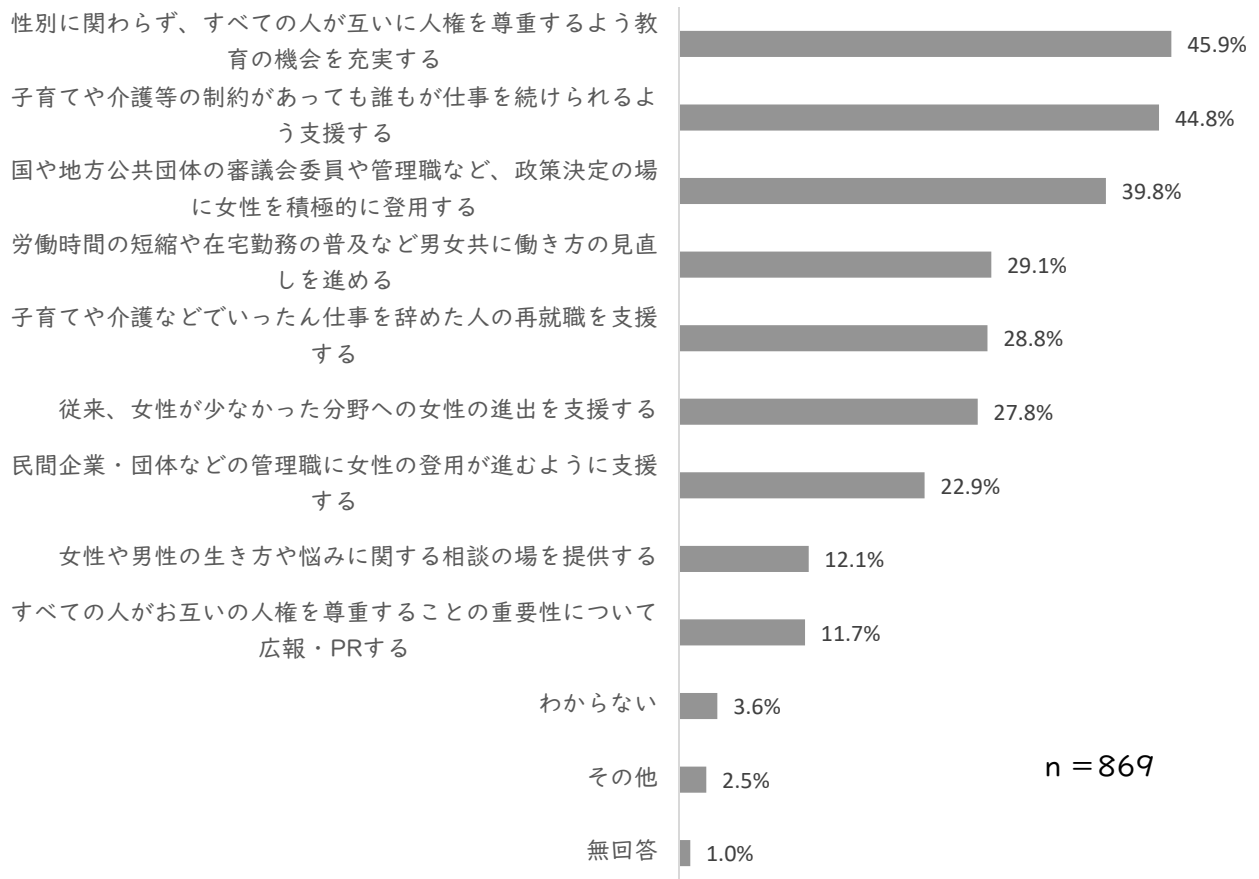
政策方針決定の場に女性が増えることで期待することは「女性の持つ意見や発想が活かされる」との回答が最も多く 57.9%、次いで「男性中心の考え方に変化が生じる」44.8%、「男女平等や男女共同参画社会に向けての施策が推進される」29.7%と続いている。

問 16 あなたは、配偶者からの暴力について、相談できる窓口(女性相談センター、法務局など)があることを、ご存知ですか。1つ選んでください。



相談窓口を「知っている」63.9%、「知らなかった」35.6%という回答となっている。

問 17 「男女共同参画社会」とは、「男女が、互いにその人権を尊重しつつ喜びも責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会」です。「男女共同参画社会」を実現するために、どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。次の中から、あなたが、特に重要だと思うことを3つまで選んでください。



「性別に関わらず、すべての人が互いに人権を尊重するよう教育の機会を充実する」との回答が最も多く 45.9%、次いで「子育てや介護等の制約があっても誰もが仕事を続けられるよう支援する」44.8%、「国や地方公共団体の審議会委員や管理職など、政策決定の場に女性を積極的に登用する」39.8%と続いている。

●「その他」

教育、啓蒙 5人

- ・今の子どもには最初からこの考え方を教えればいい、大人や老人に勉強の場をもうけないと子供たちに昔の考え方を植え付けてしまう
- ・子供の教育
- ・トップへの教育
- ・親世代の意識改革になるような啓蒙活動
- ・ダイバーシティの重要性を理解する

社会、行政 5人

- ・社会に参画する際のすべての登録において、男性、女性の選択欄を自由選択にする(今回のアンケートのように)
- ・男女関係なく、短時間でも働ける場、安定した給与、休みの確保で平等を図る
- ・行政が「本気」であること
- ・常に生活の中に憲法が生かされる仕組みづくり
- ・性別に関わらず、能力ややる気のある人が活躍できる社会の構築

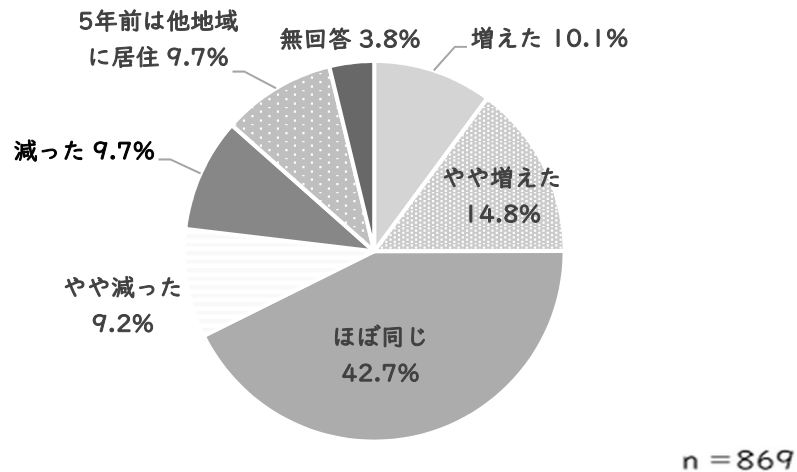
能力 4人

- ・能力があれば別に何の問題もない
- ・能力が男女変わらないなら悩むことではない
- ・能力を判定すること
- ・①(国や地方公共団体の審議会委員や管理職など、政策決定の場に女性を積極的に登用する)と②(民間企業・団体などの管理職に女性の登用が進むように支援する)は重要だと思うが、あくまで能力があればと思います

その他 9人

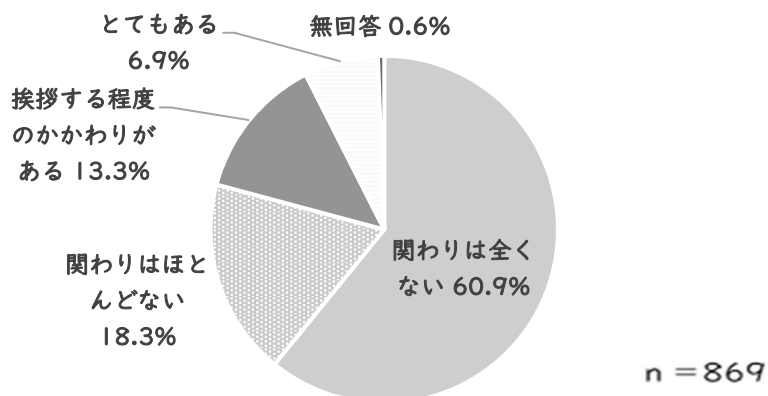
- ・海外と比較するなら文化的背景、デメリットも含めて考えるべき。性差はあるので、何でも「共同参画」は逆差別を生む
- ・いつまでたっても実現しないと思う
- ・質問が平等でない!
- ・趣味
- ・女性といっても育児経験や介護経験アリナシで大きくかわりますよ
- ・性別は関係ない
- ・性別にこだわると本質を見誤る
- ・男性とか女性とか考えるのではなく、人格を持った1人の人間としてとらえ、一人の人間が選択したことを尊重することが重要と考える
- ・こういう活動は20~50代の若者が進める。高齢者に説いても無駄

問 18 あなたが現在住んでいる地域で、外国人住民は5年前と比べて、増えたと思いますか。それとも減ったと思いますか。5年前に現在の居住地に住んでいなかった場合は「6」をお答えください。1つ選んでください。



「ほぼ同じ」42.7%、「やや増えた」14.8%、「増えた」10.1%となっている。

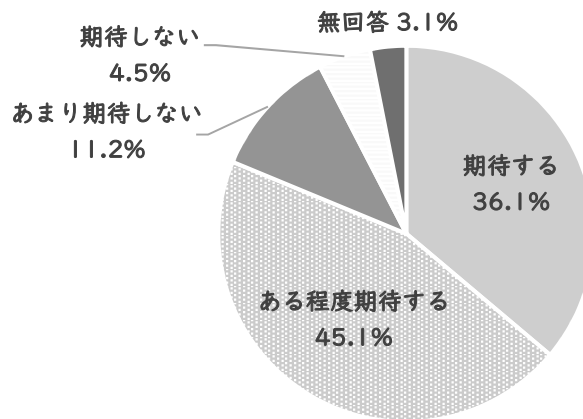
問 19 あなたは日常生活で県内に住んでいる外国人と交流はありますか。またどのような関わりがありますか。1つ選んでください。



「関わりは全くない」60.9%、「関わりはほとんどない」18.3%を合わせると約8割となっている。

問 20 あなたは外国人住民に対して、次のことをどの程度期待しますか。それぞれにつき、あなたのお考えに近いと思う番号を1つ選んでください。

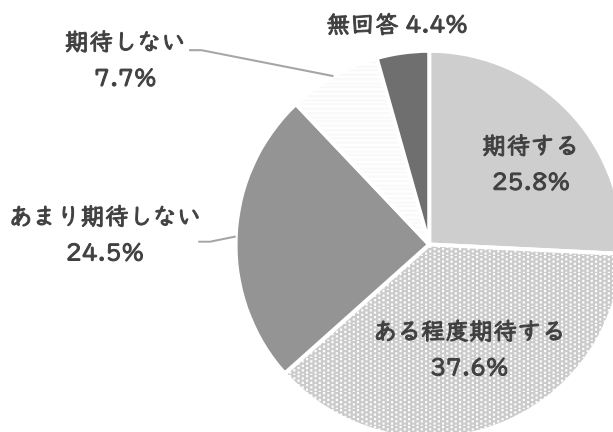
(1) 日本語や日本の文化を学ぶ



n = 869

「ある程度期待する」45.1%、「期待する」36.1%を合わせると8割を超える。

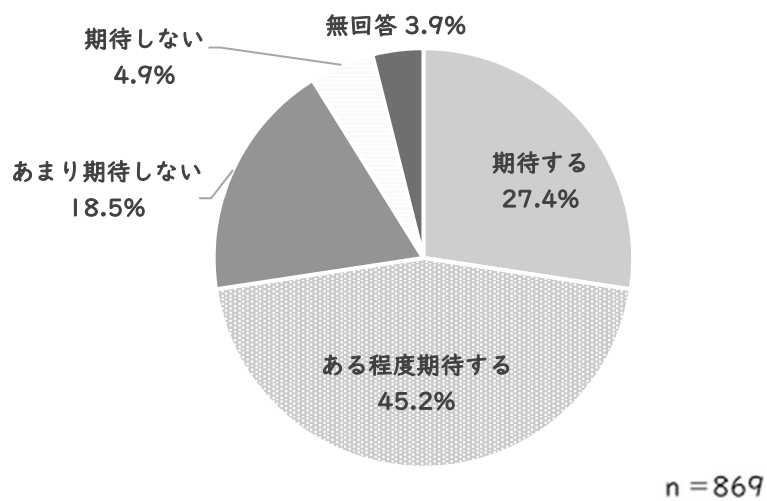
(2) 新しい発想で、地域に活気を与える



n = 869

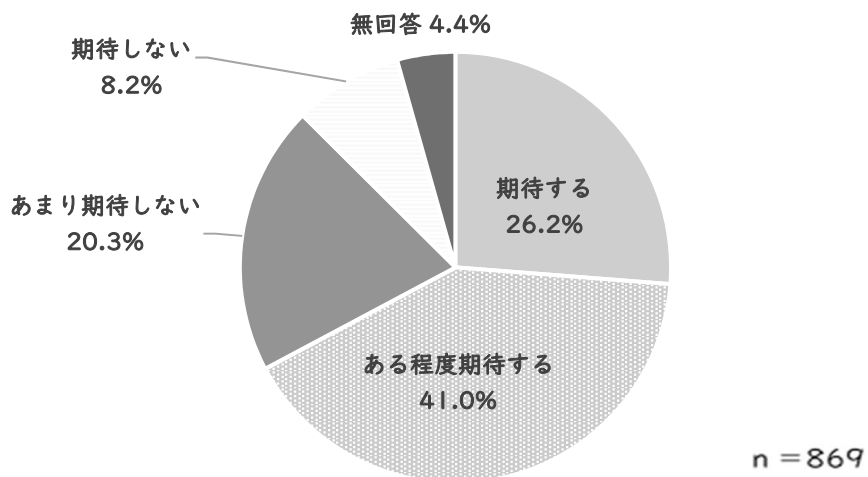
「ある程度期待する」37.6%、「期待する」25.8%を合わせると6割を超える。

(3) 地域住民との交流や地域の活動に参加する



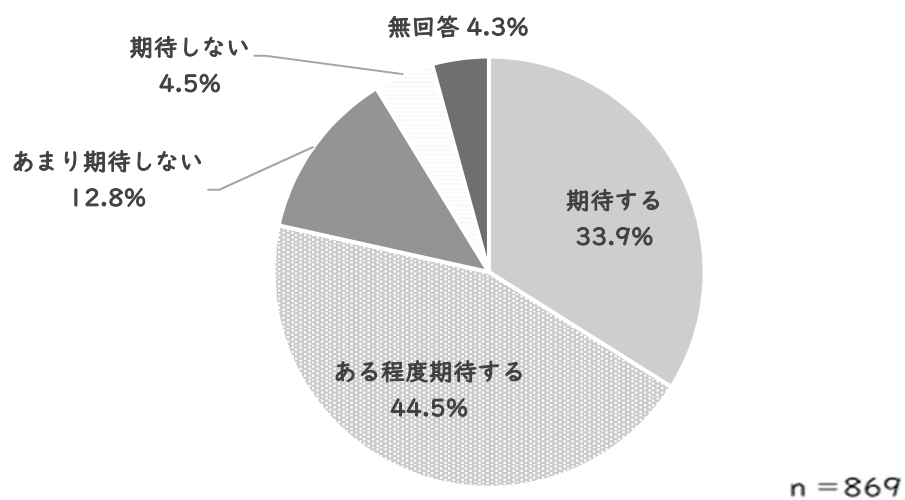
「ある程度期待する」45.2%、「期待する」27.4%を合わせると7割を超える。

(4) 日本人に、外国の言葉や文化を教える



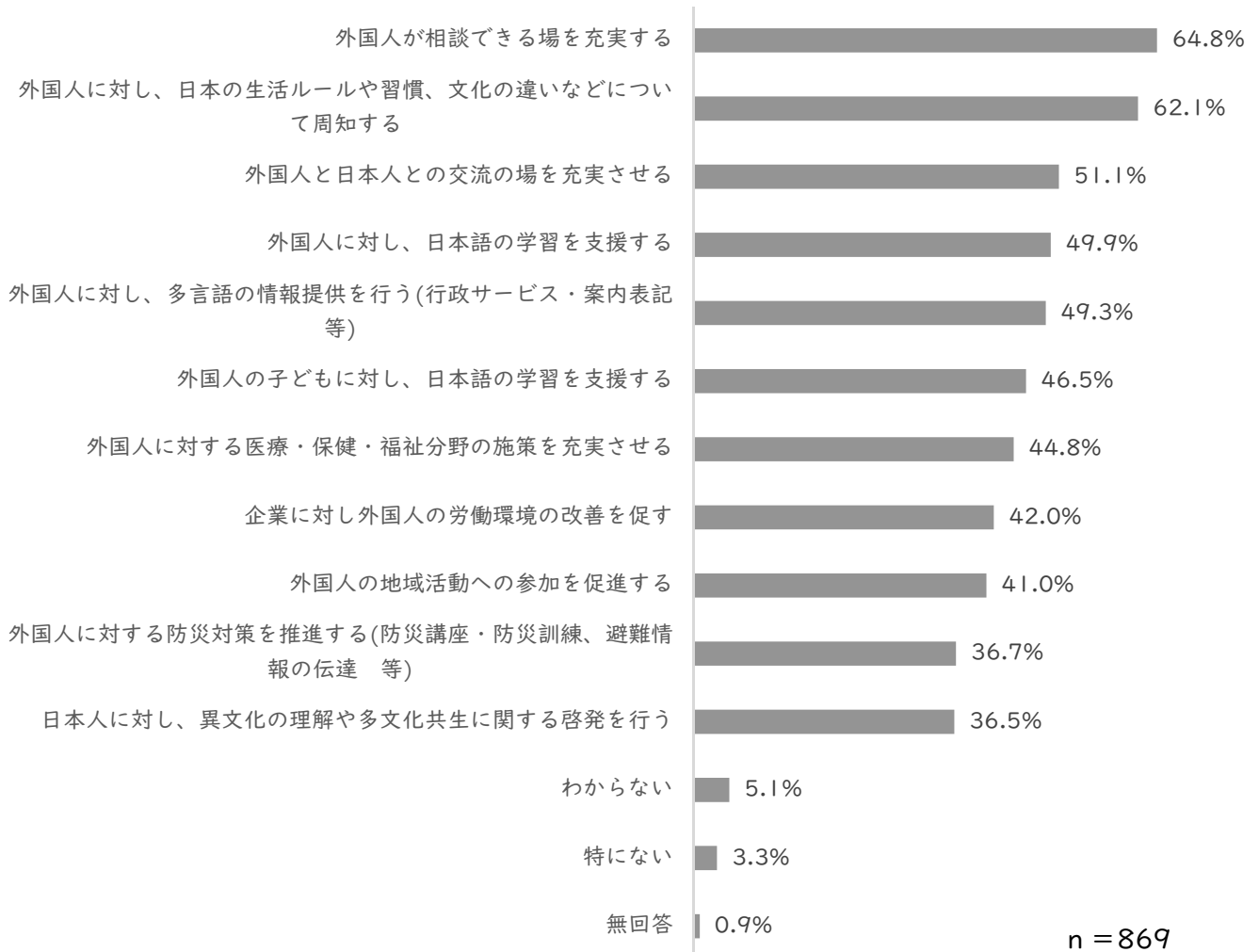
「ある程度期待する」41.0%、「期待する」26.2%を合わせると7割近い。

(5) 日本の生活ルールや習慣を学ぶ



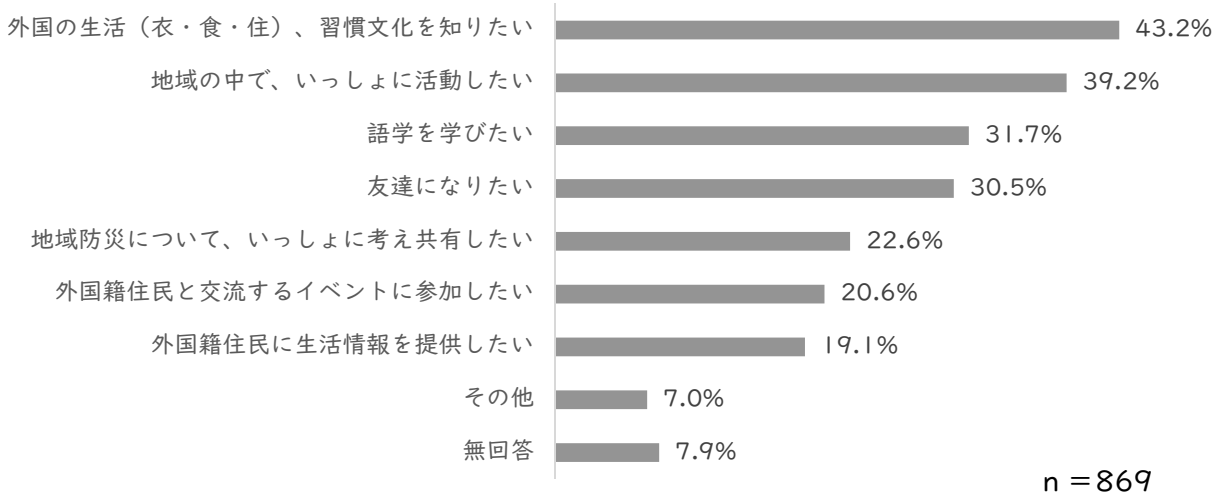
「ある程度期待する」44.5%、「期待する」33.9%を合わせると8割近い。

問 21 あなたは外国人とともに暮らす社会にしていくためには、どのような取り組みに力を入れるべきだと思いますか。該当するもの全てを選んでください。



「外国人が相談できる場を充実する」との回答が最も多く 64.8%、次いで「外国人に対し、日本の生活ルールや習慣、文化の違いなどについて周知する」62.1%、「外国人と日本人との交流の場を充実させる」51.1%と続いている。

問 22 あなたは身近な外国籍住民とどういう交流をしたいと思いますか。次の中から該当するもの全てを選んでください。



身近な外国籍住民としたい交流について、「外国の生活（衣・食・住）、習慣文化を知りたい」との回答が最も多く 43.2%、次いで「地域の中で、いっしょに活動したい」39.2%、「語学を学びたい」31.7%、「友達になりたい」30.5%と続いている。

●「その他」

特にない 17人

- ・特にない(16人)
- ・特に思わない

交流したくない 11人

- ・交流したいと思わない(7人)
- ・関わりたくない(2人)
- ・交流する必要性なし
- ・自分の年を考えると特に交流したくない

身近にいない 5人

特に意識しない 4人

- ・通常の近所づきあいと特別「外国人だから」ということでかわりはない
- ・隣の関西人に興味がないのと同様、外国人だからといって特別なことはない
- ・特に意識せず普通の人間として接すればよい
- ・普通に交流します

年齢的に難しい 3人

- ・高齢につき不能。
- ・年齢的に無理なことばかり
- ・高齢のため無理と思う。

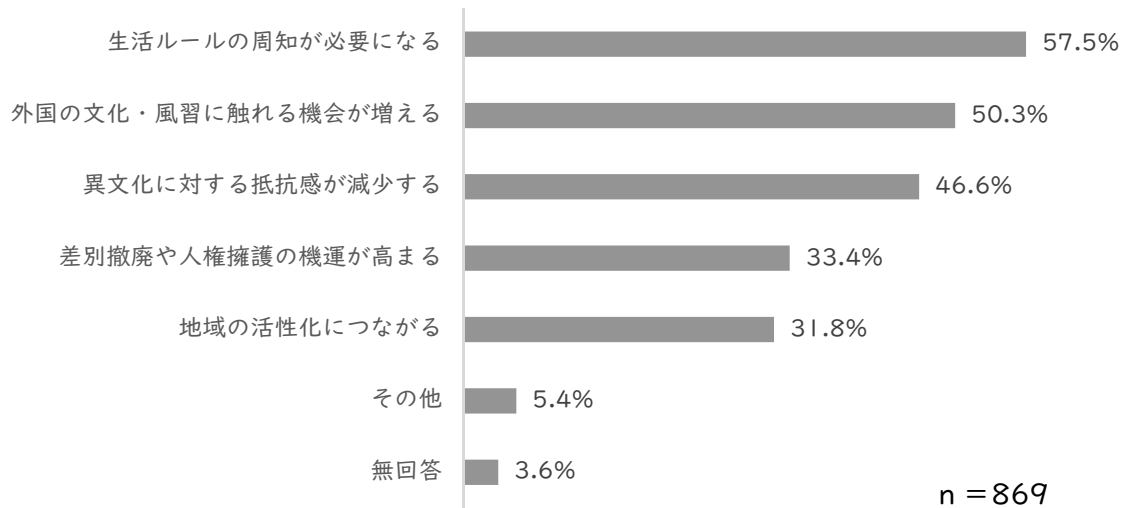
わからない 6人

- ・わからない(3人)
- ・周りにいないのでわからない(2人)
- ・実際いないので全く見当がつかない

その他 14人

- ・今研修中の方がいます。接する中で決めたい。
- ・私自身が外人の様だ!
- ・自然に触れ合えること。
- ・出て行ってほしい。
- ・体力的に無理です。
- ・日本に在住するためには日本語の会話が是非必要になる。会話が通じないでトラブルになる面をいくつも見てきた、特に高齢者が日本語習得するにはどのようにしたらよいかが課題
- ・期待しない
- ・お互いにバイアスがかかかなければそれでよい
- ・過度に干渉するのは迷惑
- ・お互いの国でホームステイする
- ・なりゆきにまかせる
- ・気軽に話しかけてほしい
- ・行政が外国人を雇用する。子供の教育(学習のみでなく、道徳やモラル、マナーなども含む)に力を入れる。区の人権講座などで多様性社会、ジェンダー、男女共同参画などをおじさんたちに教える。(男女ではなく、ジェンダーレス共同参画と呼び名を変える。) 区長会などでも取り上げる。
- ・興味ない

問 23 安曇野市内に外国籍住民が増えると、どのような影響があると思いますか。次の中から該当するもの全てを選んでください。



外国籍住民が増える影響については、「生活ルールの周知が必要になる」との回答が最も多く 57.5%、次いで「外国の文化・風習に触れる機会が増える」50.3%、「異文化に対する抵抗感が減少する」46.6%と続いている。

●「その他」

治安・犯罪 19人

- ・犯罪やトラブルが増える。(8人)
- ・治安悪化の懸念、生活保護増加。(6人)
- ・その人のルーツが分からないので、治安が心配になる。
- ・マナー、法令の違反、犯罪などの増加。
- ・問題が増える。犯罪、保険制度のただ乗り。
- ・治安が悪くなりそう、住み心地が悪くなる

生活習慣・文化 8人

- ・お互いに認め合い理解し合わないと軋轢を生じる。
- ・お互いの生活ルールの周知が必要になる。
- ・生活習慣や文化が違うためにぎくしゃくし、平和な社会が波打つ。
- ・文化や受けてきた教育の違いからトラブルも増えるのが実情ではないか。
- ・当然、時間とともに日本の文化が消えていく。
- ・社会規範の乱れ。
- ・習慣・文化・宗教の違いや自国の文化を貫くことによる衝突。
- ・文化的対立ができてる気がする。

わからない 4人

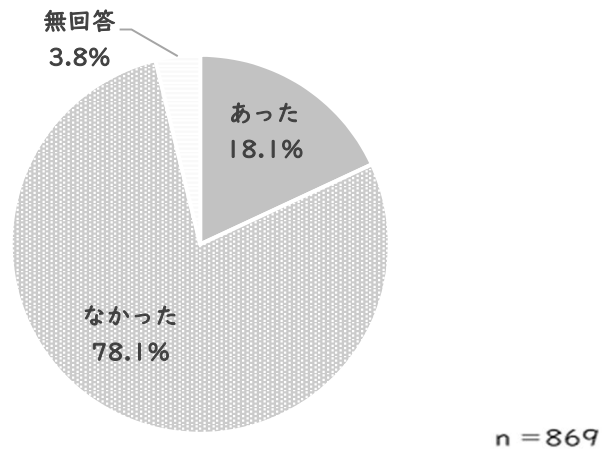
特になし 3人

その他 13人

- ・過度に干渉するのは迷惑。
- ・アフガニスタンに行って一人しか連れて来ない国で何をする。日本人だけでいい。
- ・あまり関係が無いと思います。
- ・緊張感が高まる
- ・行政にしかできないふれあいの場を多く設ける。
- ・市内から外国へ行く人が増える。
- ・世界平和 戦争が無くなる。
- ・税込と支出の関係。
- ・同じ住民だ!
- ・該当する者がいない
- ・何も考えつかない
- ・興味がない
- ・したくない

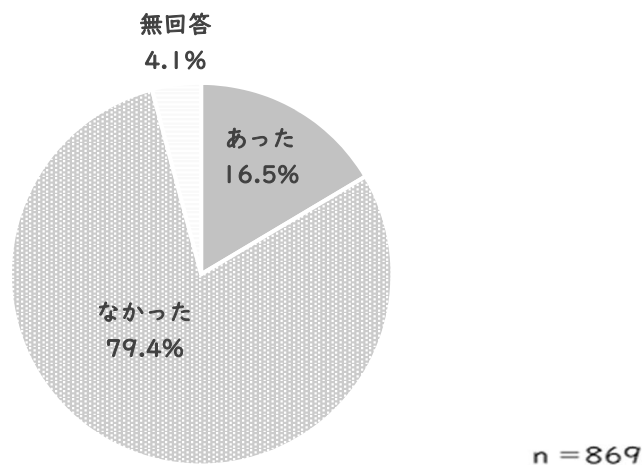
問 24 あなたは、市内で、外国人住民との間で、次のような関わりをいままでに経験したことがありますか。それぞれにつき、該当する番号を1つ選んでください。

(1) 仕事や作業を手伝ってもらった



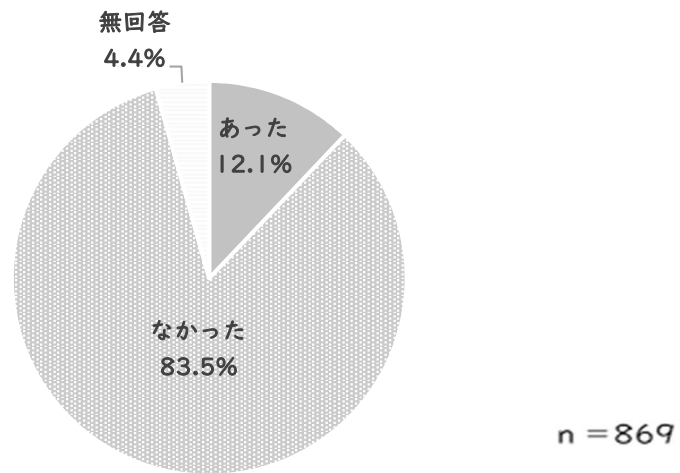
仕事や作業を手伝ってもらった経験が「ある」との回答は18.1%となっている。

(2) 外国の言語や文化を教えてもらった



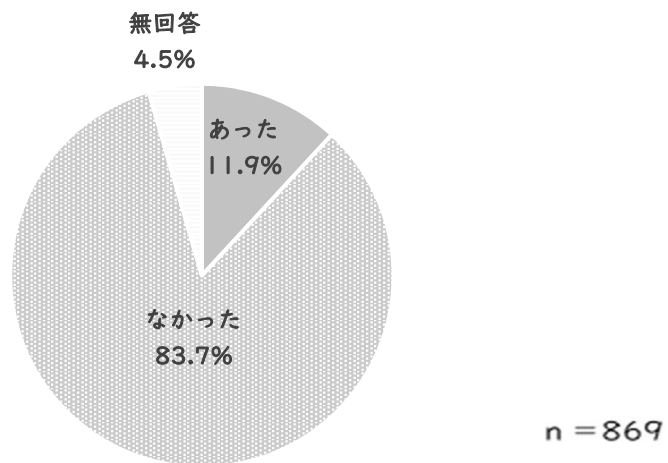
外国の言語や文化を教えてもらった経験が「ある」との回答は16.5%となっている。

(3) イベントや町会活動などで交流した



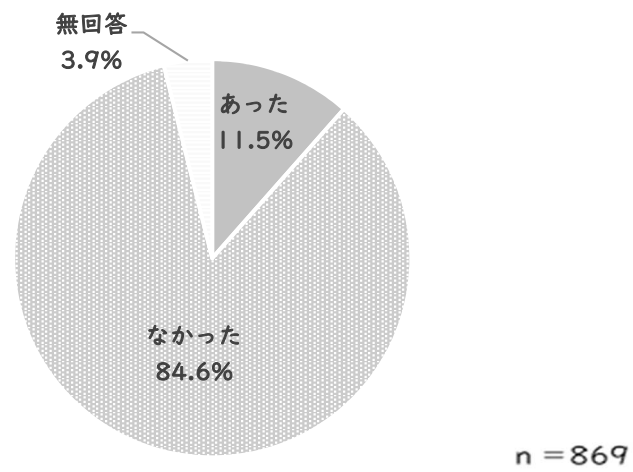
イベントや町会活動などで交流した経験が「ある」との回答は12.1%となっている。

(4) 日本語や日本の文化を教えた



日本語や日本の文化を教えた経験が「ある」との回答は11.9%となっている。

(5) 生活や仕事のことなどで相談を受けた



生活や仕事のことなどで相談を受けた経験が「ある」との回答は11.5%となっている。

(自由記述)

こんな安曇野市のサービスがあれば利用したい、どうすればいろんな国の人が住みやすくなるかなど、あなたの考えを自由に書いてください。

■要望

①情報提供方法

- ・看板や広報などをユニバーサルデザイン化する。地域の方の理解を得る。
- ・少なくとも、英語の回覧や広報があれば、外国人は住みやすくなると思います。
- ・安曇野市に入籍された人を市民公報で「歓迎 人物紹介」として紹介する。
- ・外国人専用の相談窓口を作り周知させることが必要であると思う。例：外国人に対して仕事を紹介したり、保護や、保証の制度の紹介が可能。
- ・英語表記の看板や案内板の数が増えれば、外国人も便利だし日本人も英語の勉強になる。
- ・単身者の居場所をつくり、ふれあいの場など不安なき生活を送ることができる情報を提供してもらいたい。また、終活のやり方支えあいなどで単身者でも安心できる生活の術を周知していただきたい。(孤独で孤立しない仕組み作り)
- ・ボランティア情報(いつ、どこで、どんな)サービス。
- ・外国籍アンケート(希望者も含む)へのアンケート、その公表。
- ・外国籍市民の意見を定期的に広報に掲載するか、特別の情報回覧物を作るなどして周知させることが大事。現状ではよくわからないので。
- ・企業に対して外国人の雇用を積極的に行うように促す。公共施設、スーパーなどに外国語表示を増やす。
- ・現在、安曇野市に居住している外国人の方々に生活上の困りごとなどアンケートを取り、住んで良かったと思っただけの地域になるよう行政が先頭になって行っていただきたいと思っています。
- ・広報が届かないので届けてほしい。平等であることが大事だと思う。
- ・高齢者向け交通機関の充実。
- ・国内の都会からの移住もそうですが、もっと安曇野の良さを発信すべき。国内・国外を問わず居住の有利な条件を満たすことが大切です。
- ・住みやすい街だとアピールする。

- ・多言語の情報提供を様々な場で行うことで、外国の方も住みやすくなるを考える。
- ・安曇野市にどんなサービスがあるのか周知できるサービス。住むにはどうすれば良いか、詳しく相談、教えてくれる場所がたくさんあり連携がある。
- ・外国から来た人の中から支援員を募集し、活動してもらう。(公務員、準公務員として)
- ・外国の人で地域になじんだ人を区などの会合で懇談させ、次に身近にいる外国の住民に出席願ひ、紹介するなど公になじませると良いかな？
- ・外国語が喋れる店員を数名常勤させる。市のルールやお知らせなど定期的に教えるイベントを設け、通知を送ってあげる(外国人に)。
- ・受付場所等に和訳機を設置、又は貸出する。

②交流

- ・気軽に参加可能な異文化交流。
- ・共同で料理を作る。
- ・地域活動への参加。交流の場を多くなるように支援を図る。
- ・全ての人(男女、外国人、年齢等すべての人)が参加できる議会。生活習慣や様式の異なる人への理解と交流ができる機会での話し合い。
- ・外国人の方を見かけたことはあったが、話したことがない(交流など)。
- ・いろいろな所で集まる場所づくり～人間関係が生まれる。
- ・スポーツを通して交流したい。
- ・外国籍住民と交流するイベント。
- ・一人一人の趣味に応じたイベント(スポーツ、学芸など)の機会を多く開催。開催のお知らせ方法もわかり易くする。
- ・外国の方々との交流できる場がたくさんあったら良いかと思います。
- ・同じ人間、自然体で付き合い合えば同化していくと思います。
- ・外国人がサークルを作ったなら一緒に遊びたい。
- ・外国人住民との交流イベント
- ・外国人と地域住民との交流の機会を増やす。
- ・イベントや交流会などを通じて、文化、ものの見方や考え方を相互に知り合えるような機会を公が仲介して設けてもらえるとありがたい。

- ・web上の交流広場のようなもの。
- ・外国住民との交流のチャンスは個人レベルでは非常に少ないので、コミュニティ等を設置していただければ嬉しい。
- ・異文化のお店（飲食、雑貨など）を市内にもっと出品出来たらよいと思います。
- ・外国人ばかりでなく、安曇野市民がそれぞれの趣味を生かして集まる場を作り、楽しい場を作る。楽器、合奏、手芸、コーラス等。
- ・あづみ野祭り等、国別に参加できるように市が補助、助言等もいいかも。
- ・外国の人々とコミュニケーションの場を増やしたほうが良いと思う。
- ・気軽に訪れたいくなるイベント・施設の充実。
- ・気軽に交流できるイベントが定期的で開催されたら良いと思う。
- ・気軽に参加できるイベント（お茶会等）があったら良いと思います。大人でも外国人の友人がほしい人は多いと思います。
- ・気軽に参加できる市内ウォーキング。
- ・気軽に相談できる機関を増加させる。地区内の人材の活用をもっと図ることが必要。いろいろな能力や経験を持った人が大勢いる。
- ・元気なシニア世代（60～75歳）の力を活用して、若い世代をサポートしひいては本人たちの生きがい、退職後の地域での居場所を変える。
- ・健康増進と言いながらスポーツジム等の体力維持施設がなく民間に頼るのみです。（全国転勤で歩いて来ましたが、安曇野は少ないです。）
- ・楽しさ、面白さを取り入れた啓発、交流の場を提供できる人材（養成）が必要と思います。移住者対策と同様で親切対応が基本と思います。
- ・どこに居住しているか不明。市内に交流場を多面的につくる。
- ・交流の場を増やす。
- ・みんなちがってみんないい。各国の食文化、衣料品などの販売、イベント開催。
- ・体育館だけだと、利用できる人が限られてしまう。音楽フェスなどあれば色々な人が楽しめると思う。
- ・翻訳ツールが揃っている会話環境で行事やイベントを開催できると交流しやすく関わりから理解も深まると思う。

③教育、啓発

- ・外国人に対する差別をなくする。
- ・留学生などを受け入れる「ホストファミリー制度」があれば利用してみたいです。
- ・ホームステイで良い思い出を作ってもらい外国人に住みやすさを感じてもらいたいです。そのほかとして、「大学」を誘致するのが良いと思います。
- ・他県出身ですが、教育現場でも地域でも、人権侵害がひどい。人権意識の低さ、文化レベルの低さにおどろく。役場の方々でさえ。安曇野ブランドに影を落としていると思う。
- ・外国人に対する差別、偏見をなくすためにはどうしたらよいのでしょうか？
- ・考えなければいけないですね。
- ・外国人に対する人権の確保。子供たちの教育。社会保障等（人を人として）。
- ・まず、市民の人権感覚を高める日常的な活動を行う。
- ・外国の方の子どもさんが、安心して学校に出てくるよう学校内の充実、先生のレベルアップを望みます。
- ・外国人と共に学ぶ場。共に学ぶ場。日本人向きの外国の物の販売所があればよい。
- ・日本語の読み書き、会話を教える場があればよい。すでにあるなら、もっと周知、参加しやすいようにする。
- ・日本語や文化を教えてもらえるところがあれば良いと思います。
- ・教育が大事だと思います。
- ・日本の法律、生活習慣を周知し、地域住民とのトラブルを起こさないよう教育すべきだ。
- ・むしろ日本人が外国のことを学び知るべきであると考える。
- ・住んでいる日本人（特に高齢の方）の固定観念をなくすこと。温かい気持ちをもって見守られるかどうか。
- ・人権感覚、憲法に沿った学校教育が大切。
- ・外国人の住みやすさではなく、日本語、習慣、ルールなど日本で住む上での日本のルールの教育をすることで、日本人が外国人に対する見方、また外国人の方の日本で住みやすくなると思います。ここは日本なので…日本人が海外で住むときはその国の習慣にあわせるように…外国人の生活の基盤である給与などが保証されて、生活が安定するよう願います。勿論日本人の生活もです。
- ・外国人住民に対する偏見をなくし共に協力する意識を高める。

- ・外国人（特に中国人）に対する地域ルールの周知、教育。
- ・外国の言葉や文化を互いに学べる機会、サークル等（無料又は低料金）（語学講座）。
- ・言葉、習慣の違いが分かるようにする。国の違いによる差別をなくす。
- ・言葉の壁がなくなるような教育があればよいかと思う。日本人は英語を聞くと固まってしまう。
- ・子ども達が海外留学などをして、外国を知ることはよいと思います。
- ・子供に英語を教えてもらい外国の方には日本語を学んでもらえるような双方にとってメリットがある交流会があったらいいです。
- ・サステナビリティやLGBTに関するセミナーを開催してほしい。
- ・人種が違ってても偏見を持たない教育が大切だと思う。
- ・日本人の国際化、同調圧力撤廃。

④相談、雇用

- ・多国籍語ができる職員を安曇野市に常駐させること。
- ・翻訳機を配布する。言語に堪能な職員を増やす。
- ・市役所などに外国人の相談窓口を設ける。
- ・外国人の雇用を増やす。
- ・外国・賃金などを平等にする。労働法の強化。
- ・外国籍の方々がどんなことでも相談できる窓口があれば良いと思います。
- ・ささいな事でも相談できる窓口があるといいと思う。もし、すでにあるのなら周知広報をもっとしてほしい。
- ・就労、子どもの学業機会が確保され、困ったことがあれば気軽に相談できる場があること。
- ・全てのことに相談できる窓口を設け、気軽に行ける場所があると良いと思う。
- ・どんな小さなことでも困ったこと、不安なこと、色々なことを気使うことなく相談できる場所
- ・外国人に対し、市の相談窓口をPRして住み良い環境を作ってください。

⑤生活、子育て

- ・空き家を低価格で貸し出すサービス。
- ・景観のための居住施設が少ないと思う。

- ・公共交通機関の充実。
- ・外国人は出稼ぎの人達が増えても交流はないです。外国人は研修生や国内の稼ぎのいいところを転々としています。日本人も同じですが、企業の誘致や雇用の促進など定住できる仕組みであればよいと思います。
- ・まず、日本人の子育て（ひとり親など しやすい）環境へ変わってほしい。
- ・具体的なもの、No ideaです。お許してください。
- ・生活弱者に積極的に手を差し伸べるサービスをすれば外国の人も救われる。
- ・仕事、言葉、相談窓口。・市内巡回型バスの運行をしてください。通勤、通学、通院、高齢者の外出を進めたり、さらに観光客の利用もあり効果は大きいと思います。又、将来的に必要であります。次に安曇野の自然を守りましょう。安曇野は山あり川あり里山あり、そして集落と田圃が引き立てています。この田圃が年々減少傾向にある様に思われます。安曇野の四季と自然の美しさを後世の人々の為に残す必要があると思います。
- ・小規模農園（家庭菜園程度）希望者への貸し出し農地の紹介。
- ・現状でも結構のびやかに生活されているように感じています。仕事さえあれば、もっと増えるのでは。
- ・行政が率先して行動し、町内会、自治会、公民館活動の手本となるよう行動すること。民部組織への丸投げでは住み良い町とはなりません。
- ・行政を交えた交流の場を細かく増やす。・高齢者が多く自由に動ける巡回バス、自転車、車椅子が動ける道路整備。大企業がこれら工業団地づくりで企業を呼び込み若者の住みつく街づくり。
- ・高齢者のタクシーなど無料サービス。いろいろなことの規制緩和。
- ・水路を利用した家庭水力発電の推進。
- ・職務内容を知らず、いい加減な対応をホール東側の男性より数回受ける。「私は言っていない」など自覚に欠ける発言があった。市役所で曖昧な表現での対応を数回受ける。退勤時のながらスマホをやめて欲しい。個人の書類の管理がきちんとできておらず困ったことがあった。ホール東側での職員のお喋りが目立つので客観的に注意しあってほしい。
- ・色々な言葉を話せるセンターがあって、そこに集まれば、いろいろな人が話せるし、相談できる場所があれば良いと思う。市役所は対応している？
- ・人手のない企業に外国人を使ってやればお互いにいいのではないかと思う。

- ・生活支援（お得なクーポンなど）。行政サービスの素早い対応。（コロナワクチンの接種ほかの市町村より遅れていた）。
- ・不便な地区に住んでいる高齢者には、市の保健施設、選挙イベント、諸々の催事等には乗り物が第一です。交通面での補助を考慮してくだされば利用の幅も広がるかと思います。希望です。
- ・地域住民と同じ目線で生活が共有できること。そのためには外国人に対する医療制度（保険・年金等）や教育制度等、生涯で必要な支援を日本人と同様に享受できる平等の概念・仕組みが整理されていないと必ず破綻につながると思います。
- ・日本での生活に戸惑う外国人を助けられる組織を作り、その存在を安曇野で暮らす外国人に周知する。
- ・老若男女あらゆる人が利用できるスポーツジム（歩行プール付き）があればぜひ利用したい。
- ・人口減、特に生産人口の減少が避けられない中、外国人の流入を促進すべき。現状の技能実習制度は即見直すべき。
- ・日本の文化、生活のルールをいち早く教えるのが肝要。
- ・バスの運行、学生の電車賃の割引、給食費の無料化、市営施設の割引クーポンの配布。保育士、看護師、介護士など市の中で資格取得のサポートや研修のシステム。
- ・人のためになるサービス又は心構えがあれば良い。
- ・母子家庭で病院勤務をしています。経済的に正社員で働きたくても休日数、保育園の時間を考え、パート勤務です。時短勤務や休日数を企業が考慮して正社員でも働ける取り組みを促進して頂けると嬉しいです。
- ・地域限定通貨（デジタル通貨）を導入し、ボランティア活動に参加した人に付寄する。一般市民より情報ボランティア（IT系の知識・技術を持つ人）を募集し、小中学校の情報の授業を支援する。・地域で配布される案内や回覧板などが多言語になるだけで、受け入れられているという気持ちになるのではないのでしょうか。せめて翻訳サービスがあればと思います。
- ・地域によっては近くに店舗がなく不便な場所があります。免許を返納した高齢者でも歩いて行ける範囲で買い物ができるような店、不可能ならば移動販売などの店があればいいと思います。
- ・地区の民生委員ではなく、福祉センターの職員へ直接相談できるのか。日常生活のルールを周知し、ゴミ当番の見学をして実習する。

- ・中学生や高校生が勉強できる場所が欲しい（塩尻市のエンパークのような）。
- ・信州スカイパークのような大きな公園が欲しい。雨や雪でも子供たちが遊べる屋内施設が欲しい。路線バスが欲しい。
- ・中学校の制服を男女共通に対応するなど早急をお願いします。
- ・治安の向上（国籍問わず、年齢問わず、不逞の輩を厳しく取り締まることが皆の安心につながります。）
- ・ゴミ集積所の使い方が外国の人には難しいように思った。多言語によるゴミの分別の表記をする等の対策が必要であると感じました
- ・ゴミカレンダーの多言語化推進。
- ・生活のルールを周知させる。（例：ゴミの出し方）
- ・交通の便を良くしていただきたい。あづみん土日運行～、18時まで。
- ・外国人というだけで勝手にこちらが期待するのはいかなものだと思います。普通に暮らしたい人もいます。一人の住民としてただ受け入れるというのではいけないのですか。ゴミ袋が高い。住民税が高い（子育て家庭に優しくないですね）
- ・人種問わず年齢の違いがあっても一緒に楽しく活動ができる場が増えると地域も活力が出ると思います。
- ・15歳以上の医療費無料をお願いします。
- ・外国の方より、障がい者や高齢者の福祉に力を入れてほしい。
- ・安曇野市の市民税などを見直さないといけないと思う。
- ・あづみんで自由に行きたいところに行きたい。
- ・松本みたいに100円バスがあればと思います。
- ・予約なしで乗れるバス。
- ・市内のバスの充実（交通手段がなさすぎるため）。
- ・市内バスがあると良い。
- ・市内を走るバスがあるといいなと思います。
- ・しゃくなげの湯の経営を静岡県から安曇野市に変更してほしい。温泉の営業時間を以前と同様にしてほしい。外国籍の人は文化の違いだと思いますが、常識が無いように感じる。
- ・イオンモールがあればうれしいです。
- ・外国人が勤務しているIT企業を誘致、発展させる。看板、標識等を文字併記し拡大する。

- ・子育て世代や低年金の高齢者、障がい者、外国人に対し経済支援が必要です。
- ・運動したくても一人ではスポーツできません。相手が必要。何とかならないか。一人でもできるスポーツと設備があれば利用したい。
- ・せっかく、子育てするのに良い環境、恵まれた環境であることをうたわれている(松本市含め)ので、子どもをもっと産んで育てたい！！と思える政策を考えてほしい。3人目以降お祝い金が出るとか…周りではやっぱりお金の面であきらめている人が圧倒的に多いです。(じじばばの協力があるにも関わらずあきらめている)とてももったいない。
- ・学校が遠い子供、車のない老人が利用できる巡回バスがあれば良い。夜道が暗すぎて不安を感じるのが住みにくいと感じる。男性社会に迎合した女性が出世するようでは女性進出の意味はないと感じる。女性が女性らしく働いても評価されて出世し、その意見が反映されれば、住みやすくなるのでは。
- ・店舗内で、大声で話す中国の方々を迷惑に感じる事がしばしばあります。市民となる際に、市から生活のルールを周知を少しでもしていただくとマナーの違いによる誤解は減るでしょうか。
- ・猿の被害が多くて電気柵を作らないと作物が作れないです。考えてほしいです。年寄り年金生活です。国民年金だけですのでお願いします。
- ・観光業への取組がまだまだ足りないと思う。まずは外国の人に安曇野に遊びに来てもらい安曇野を知ってもらうことから始めるべき。
- ・町内会、PTA、消防団の活動は行政が代行するサービスがあれば多くの人が住みやすくなり、先進的な自治体となり人口が増えると感じている。

⑥アンケートについて

- ・このアンケートは外国人受入れを前提としたものと受け取れます。つまり売国行為です。世界史はユダヤ、イスラム、キリスト教徒による戦いであり、彼等を沢山受け入れればまさに中東と同じ状態を作りますね。歴史は繰り返します。
- ・外国戸籍住民に関するアンケートは外国籍の人に送るべき。前向きな話より困っていることに対する対策が優先と考えるから。
- ・年齢的に(91歳)抽象的問題が多く、回答に苦慮しました。
- ・回答用式の順番をかんがえろ

- ・アンケート項目が多すぎる。選択肢の分もそれぞれ長すぎる。
- ・このようなアンケートに何回か回答しましたが、いずれも世帯主で日本の男性である私宛に送られてきました。世帯主に送られているのであれば、女性や外国籍の方の意見が反映されるか疑問です。
- ・少なくとも直筆のアンケートはなくすべき。書く側、集計する側も負担。家を借りる、仕事を紹介する際に優遇すれば海外の方でも住む選択肢になるのではないか。人口増やしたいなら、産業支援するほうが優先と考える。
- ・アンケートは紙でなく Web のほうが回答しやすいです。アンケートの選択肢は、YES/NO の回答以外の設問についてはネガティブな意見の選択肢がない。男女共同参画、多文化共生推進する行政としてはしょうがない部分はあるが、広く市民の意見を踏まえた取り組みを検討する場合、ネガティブな意見も収集する必要があるのではないか。
- ・マークシートは「エンピツでもボールペンでもどちらでもよいです」（例）の説明が、親切なアンケート依頼と思います。
- ・問 18～24 の中で外国人住民と外国籍住民との表記がありますが違いがわかりません。・特にアジア系が非常識と感じます。（近年）
- ・同様のアンケートを外国人に実施し、行政で検討する。あらゆる分野でのサポート（拡充）は必要ではないかとなんとなく思います。
- ・アンケートですが、女性側に関する事は質問が多くありましたが、今、一般社会（会社員など）で、男性側に育児・介護に対する理解がどれほど無いか、40～70 歳までの男性に対するアンケートがあればよりよい市政になると思います。育児の休みを取得する際に理解を得られないことが多いからです。（特に 40～70 歳の方）
- ・アンケートの質問がずれている気がする。

■その他

- ・ご当地ナンバープレートを作ってほしい。安曇野の地名をより広めて地域活性化を促進したほうが良い。
- ・近隣に外国人がおりません。
- ・日本に男女平等を唱えるのは男にも女にも抵抗があると思います。外国がそうだからみたいなの。
- ・市長、市議は選ばれないとなれないが、市の職員の管理職は増やせると思う。（女性が）

- ・全ての偏見を無くすこと。
- ・退職後、安曇野市に移住、一人で生活しています。地域との関わりは少ないのが現状です。
- ・外国人だと知っている人はいるが、1名なのでよくわからない、考えたことがない。安曇野市に男女共同参画課があることを知らなかった。
- ・郷に入れば郷に従うを知ってほしいけど、私の知り合いの外国人は母国のしきたりを通す傾向がみえる。この先も日本に住んでいくなら（地元でそれぞれと思うが）合わせないと村八分になりかねない。
- ・子ども達が安曇野市に家を建てたくても規制が多く（田園都市構想等）身内であっても建てられずほかに移転してしまう。農業も将来的な夢がなく田園都市といってもダレが水田等を保持するのか。荒れた田畑が多くなり何が田園都市なのか？役員の数が多く人口がどんどん減るのにこれからどうするのか。
- ・根本的に江戸時代より前から今日までやってきている状況がある。
- ・サービスについては特にありません。先入観を持たずに接する。自分がもしかして、他の国でどのように周りの人から接してほしいかを考えて行動したい。
- ・サービスの提供にあたっては、行政とはいえ費用対効果の意識した取り組みとなるようにしてほしい。
- ・サービスを使用したらどれだけの金額がいるか明確に知らせてもらいたい。税金も！サービスとはただではないこと。
- ・しきたりや習慣は全てが否定できるものではない部分もあると考えます。残したい行事があれば、残さなければいけないしきたりもあるのでは。
- ・中国人はあまり信用できなかつた。ブラジル人は人懐こかつた。インド、バングラデシュ人はちょっと信用できなかつた。これは個人の問題であつてすべてではない。外国人とこれからはなるべく接したほうが良いと思う。
- ・土地は余るほどあるので農作を行わない田畑などあれば市が積極的に買収し、格安で提供することで企業や商業施設などの誘致を行い地域の活性化につなげる。
- ・人が数多くあること。
- ・まずは、快く受けとめることからだと思います。
- ・まずは郷に従う、話はそれから。
- ・まだ発展途中ですので、いろいろ考えて実行してゆくことだと思います。

- ・身内にアメリカ人と生活している家族です。
- ・若い人が元気になること。安曇野市にしかできないようなことをすればいいと思います。
- ・難民を受け入れない国でいったい何をしようとしているのか。単一民族だから治安が守られている。自民党だということはそういうこと。相撲もモンゴルに帰ってほしい。日本人でまわせればいい。国際水準にする必要はない。
- ・日本人でも新しい人はなじめないでいる。まず、外国人ではなく新しく越してきた人達と上手に行くようにしてほしい。外国人と何かをする機会が多くあれば良いと思う。
- ・日本人も含めてだが、マナーやルールといった法律とは関係ない（決まってはいない、グレー部分）事柄で、違反や迷惑をかけるような人には、しっかり強く注意できるようにしてほしい。そのためには独自の条例が必要というなら罰則を設けられるような法整備を検討してほしい。
- ・まだ自分の足で歩けるのでどうこう問題はないが、足が無くなった等、改めて自分で実感するときまで生活してみる。外国の人にはできれば声かけが必要かな。
- ・わからない。
- ・私はコーチなのですが（休業中）、コーチングを安曇野市で広められたらいいと思います。
- ・外国人、日本人ではなく、法治国家なので決められたように暮らせばよい。
- ・旧豊科に生まれ安曇野市で80年幸せに暮らさせていただいています。「田園都市安曇野」新市長さんのもと、ますますの発展を祈っております。
- ・特にありません。
- ・分からない。
- ・無人野菜売り場などを中心に幅広く出す。みんなで心の豊かさを知る。
- ・無料でスポーツジムのような場所、設備の提供があると良いと思う。
- ・「郷に入ったら郷に従え」的な考え方がまだ強く、そうならない人達（同じ日本人も含めて）への抵抗が強いと感じています。そこに住んでいる人たちが、どう受け入れ、それに伴って人権意識をつくっていくことが必要だろうと思っています。
- ・80年代後半の意見より、多くの若い人たちの声を参考にされたほうがいいと思います。
- ・安曇野市に住んでまだ1年たっていない為、よくわかりません。
- ・税金のかかる建物を作りすぎ何を求めているか結果良く分からない。
- ・安曇野市はとても住みやすく行政のサービスも充実していると思います。
- ・外国の方も比較的住みやすいと思います。しっかりPRすれば住んでいただけると思います。

- ・田舎のルール、しきたりを押し付けない。(日本の若者にとっても居心地がよくなると思う)
- ・今の市。町でよいと思う。
- ・アメリカやヨーロッパの先進国は移民や難民が増えすぎ、治安や労働問題などで苦勞している。外国人の受け入れは、目先の人手不足業種の対応などの要請はあるが、慎重に考えなければいけないと思います。
- ・今は限られた人の中で生活しているので出会う人も限られている。
- ・色々な国の人に住みやすくなってほしいと思わない。国によって常識も違うからトラブルになるのが嫌。その辺うまくやってほしい。
- ・いろいろなサービスがあっても年齢を重ねるうち行動範囲も狭くなってきています。予算も年金の中で行う。いっぱい生活で考えられません。私たち市民が幸せに過ごしていれば、他国の人も優しい心で接することができるのではないかと思います。
- ・いろいろな国の人が増えても良いが、皆仕事ができなければ犯罪も多くなると思うので、生活できる基盤が必要だと思う。
- ・外国人に住みやすいということは、市民に住みにくいということもあるかもしれません。
- ・外国人には法律は当然、ルールを守るように徹底し、不良外国人は排除すべき。
- ・外国人の方達については、あまり意識して接触せず自然体でよいと思う。
- ・外国の人は体が大きいので恐怖感がある。
- ・外人との交流なし。